

# 国 語

東 京 書 籍

学 校 図 書

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい国語）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的、基本的な知識や技能が、習得と活用を繰り返しながら系統的、螺旋的に学べるよう大変適切に配列されている。</li> <li>・内容が「本編」「基礎編」「資料編」の3部から成り、「本編」では3領域1事項が網羅され、「基礎編」「資料編」では本編での学びを深めたり広げたりできる構成となっている。</li> <li>・巻頭の折り込みで国語学習の意義と進め方が、また巻末の「言葉の力一覧」で各学年の学習のつながりがつかめるよう大変適切な配慮がなされている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<p>(1) 1年の前半の教材は平易な内容になっており、各領域にわたって小学校高学年の復習になるように配慮されている。また、2、3年には高校の教科書にも作品が採録される著作者の文章も掲載され、文章の難易度としても高校とのスムーズな接続が図れるよう大変適切な配慮がなされている。</p> <p>(2) 生徒の心に響く新鮮な作品、読み応えのある定番の作品や名作、また社会の様々な課題に向き合える文章や伝統文化に関する題材が大変豊富に揃っている。</p> <p>(3) 各教材には学習のねらいや進め方がわかりやすく示され、また様々な読み比べや課題解決的な言語活動が用意され、生徒の主体的な学びを促すよう工夫されている。</p> <p>(4) 本文の書体に、筆遣いや字形が書き文字に近い特別な明朝体が使われており、生徒が書く文字と読む文字との違いで混乱しないよう配慮されている。</p> <p>(5) 文学・詩歌分野では情緒的なさし絵や写真が配置され、古典・伝統文化分野では色鮮やかな絵巻や資料が添えられ、思考力や想像力が効果的に高まるよう配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価</p>	<p>(1) 各領域とも3学年を通した系統性・段階性を持って学習目標が立てられ、それに適した教材及び「言葉の力」が配列されている。</p> <p>(2) 習得した知識・技能を繰り返し活用できるように各領域の教材が配列されており、各領域の関連が図られている。</p> <p>(3) 巻末の基礎編「学びを支える言葉の力」では、各領域に共通して必要となる言語の力を掘り下げて鍛えることができ、思考力や判断力、表現力の基礎を養うことができる適切な配慮がなされている。</p> <p>(4) 「伝統的な言語文化に関する事項」では、古典世界と現代のつながりがわかりやすく関連づけられている。また、「広がる言葉」や「言葉を広げよう」で、語彙を豊かにしたり、「書くこと」の学習に生かしたりできるよう工夫されている。</p> <p>(5) 説明文・読書の分野では臨場感ある写真や具体的な図表が示されており、学習展開に有効に活用できるよう大変適切な配慮がなされている。</p> <p>(6) 「基礎編」では「読むこと」「言語事項」のまとめが具体的に示され、また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の小単元末には的確な振り返りが用意され、明確に評価ができるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、色遣いなどに工夫が見られる。</li> <li>・3年間のまとめの説明文として、今日的な課題である東日本大震災を取り上げた「いつものように新聞が届いた」を新しく書き下ろして配置し、今後の学習や生活につながるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	学校図書（中学校 国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力や判断力、道徳心が育まれるような教材文が選定されている。</li> <li>・単元の配列の系統性が明確で、生徒が既習事項を確認しながら、ついた力を振り返ることができるように配慮されている。</li> <li>・交流や共有を軸とし、読み物教材と表現活動をつなげた言語活動が設定されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元、生徒が読みやすい教材から配置され、さらに分量や難易度、分野を考慮した選択教材を設けて、生徒の実態に応じた学習活動がなされるように配慮されている。</li> <li>(2) すべての単元で、教材文と関連させた言語活動が設定されており、一貫した学習の流れの中で、生徒の実態に即した展開が可能になるよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(3) 単元初めの教材には、生徒自身が読み進めながら内容理解を深められるように、場面展開に即した脚間が示されている。また、各教材末に付けられた「学びの窓」では、表現や主題に関わる課題が提示されており、生徒が段階的、主体的に追究できるよう大変適切な工夫がなされている。</li> <li>(4) ユニバーサルデザインが採用され、学習活動によってページの枠色や文字色を分けて全学年で統一させてあり、構成も、教材文と脚注、学習活動のみで、学習内容に集中できるよう大変適切な工夫がなされている。</li> <li>(5) 大きく鮮明なさし絵や写真が、教材文の初めや主題に迫る部分に配置されており、教材への関心や想像力を高め、叙述や主題と関連させながら内容理解に役立てられるよう大変適切な配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全学年共通の系統的な単元配列がなされ、単元のテーマが、生徒の実生活に身近な「絆」から「世界」へと広がり、教材を通して生徒の見方や考え方が広がるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 全学年、全単元に、読解と言語の知識理解に関するまとめがあり、学年や学習が進むにつれて発展的な内容になるように配慮されている。</li> <li>(3) どの単元でも、「読むこと」の教材文と関連させた「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習への発展があり、一つの単元の中で、思考力や伝え合う力が高められるように大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 古典の単元を、現代の「言葉」につながる一つの単元と位置づけて、作品への興味につながる導入部分や補足説明が添えられているので、古文の読解とともに、意見交換や表現活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(5) 作品の世界観や主題に適したさし絵や、意図が明確な写真や図表が載せられており、それらの視覚情報を活用して内容理解ができるよう適切に配置されている。脚注の画像資料も豊富である。</li> <li>(6) 各教材の初めには目標が、終わりには自己評価の観点が明確に示されており、生徒自身が「ついた力」を確認できるように配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域の学習を調和的・有機的に関わらせながら、系統的、段階的に学習を進めていくことができる単元構成になっている。</li> <li>・平和や人権、環境問題等、自他と国内外の諸問題を主体的に捉え、「生きる力」を育むことにつながる教材文が選定されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">三省堂（現代の国語）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の仕方が示され、基礎的・基本的な言語の知識や技能の習得、活用ができるように配慮されている。</li> <li>・生徒が自ら課題を解決し、思考力・判断力・表現力を高められるような配慮がされている。</li> <li>・教材の冒頭に学習目標が示され、教材の最後には学習の振り返りができる配列になっており、見通しを持って学び方を意識しながら意欲的に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)段階的・系統的な学習が行えるよう、各学年に応じて無理のない学習計画が立てられるよう配慮されている。</li> <li>(2)各学年に応じて、生徒の知的好奇心や探求心をくすぐるような、幅広いジャンルの文章・題材選定への配慮がなされている。</li> <li>(3)学習目標の明示により目的・見通しをもち、学び方を意識しながら学習を深め、学習したことを振り返り、身につけた力を確認し次に生かせるよう、学習の流れが示され、主体的に学習できるように工夫されている。</li> <li>(4)発達段階や学習の深まりに合わせ、文字の大きさ・字体等に配慮し、各学年に応じた学習が適切に行えるよう工夫されている。</li> <li>(5)生徒の学習意欲が喚起されるよう、随所にさし絵・図表が配置され、学習の理解を助け、興味・関心や想像力を高めながら学習を進められるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)学年の発達段階に応じた教材が配置されている。また、1学年から3学年まで学習内容が系統づけられ、前の学年で学習した事項を活用し、次の学年での学習内容を身につけられるよう配置されている。</li> <li>(2)単元で身につけた学習内容を活用し、新たな力を身につけられるよう、学習内容及び指導事項がつながりをもった配列になっている。</li> <li>(3)すべての領域にわたり、基礎的・基本的な力を身につけられるよう学習内容のバランスが考えられ、思考力・想像力を働かせ、伝え合う力を高められるよう配慮されている。</li> <li>(4)学習内容に深まりを持たせられるような言語作品を取り上げ、伝統的言語文化の学習を通して、現代の自分たちの生活やものの見方・考え方を深め、伝え合う力や思考力、判断力を高められるよう配置されている。</li> <li>(5)生徒の興味・関心を高め、学習意欲を持たせる補助的資料としての、さし絵・図表・写真等が適切に配置されている。</li> <li>(6)教材の冒頭に示された学習目標を意識し、見通しをもって学習を進め、最後には振り返りの活動を通して、生徒が、自分で身につけた力を評価し、次の学習に生かせるよう配置されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本編と資料編により、単元教材だけの学習にならないよう、多面的に学ぶ力が高められるような構成になっている。また、生徒の発達段階や学年の特性、行事等、季節感などが考慮され、興味関心・意欲をもって学習を進め、生徒が理解しやすい教材(題材)及び資料が配列されている。</li> <li>・「読み方を学ぼう」のページが設けられ、文章のジャンルに沿った読みができるよう、また他の文章を読むときにも学習内容、身につけた力を活用できるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	教育出版（伝え合う言葉 中学国語）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年における各領域目標を達成すべく、指導項目が配置されている。</li> <li>・進級につれて、学習が深化する単元展開となるように配慮されている。</li> <li>・学習過程と学習内容の重点を明確に示した教材のつながりによって、段階を追って力が高まるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1年間で習得段階から活用段階へと徐々に移行する単元展開となっており、その積み上げから螺旋的な学習が生まれるよう配慮されている。</li> <li>(2) 国内外・新旧を問わず、幅広い作者・内容の教材を収めて、生徒の興味・関心に対応し、多様な学習活動が展開できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「読む」から「話す・聞く」、「読む」から「書く」というように、「読む」を起点とする連続した単元展開が工夫されており、「読む」の後に配置された「みちしるべ」によって、生徒が課題と見通しをもって学習活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(4) 学年の発達段階に応じて大きな活字で字間・行間にゆとりをもたせた構成から小さな活字で字間・行間を狭めた構成となっており、癖のない字体と併せて配慮がされている。</li> <li>(5) 必要に応じた挿絵・図表・写真等の掲載により、生徒の理解を促し、思考力・想像力を高めるような配慮がされており、特に情報活用や古典教材では、効果的に用いられている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1学年に「導入」、3学年に「送り出し」の単元を設け、小・中・高における学習の連続性を意識した単元展開となっている。</li> <li>(2) 各学年の学習段階に沿って、徐々に学習が深化するよう3領域1事項が配置され、互いに関連させながら、連続した学習指導が可能である。</li> <li>(3) 「読む」教材を起点として、「話す・聞く」や「書く」教材へ展開する単元構成により、各領域の調和を図ると共に、学習段階に応じた活動で、伝え合う力・思考力・想像力が高められるよう配慮されている。</li> <li>(4) 各学年の古典教材後に、日本を代表する文豪の作品を扱った読書教材が配置されており、文語調の作品に違和感なく親しめるよう配慮されている。</li> <li>(5) 適切な挿絵・図表・写真等が掲載されており、視覚情報によって生徒の理解を補助しながら学習が展開できるよう、大変適切に配慮されている。特に古典教材では効果的に用いられている。</li> <li>(6) 各教材に、「目標」や「目標と振り返り」が示され、まとめや評価の観点も明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習段階に応じ、連続的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・古典教材における挿絵・図表・写真等の有効利用と、古典教材から文語調の作品へ展開する単元の連続性に特色が感じられる。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">光村図書（国語）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の目標の達成に向けて教材・内容が大変バランスよく配列されている。</li> <li>・生徒の発達段階を踏まえ、言葉の力を習得するための教材が学年間で整理され系統的に大変適切に配置されている。</li> <li>・具体的で実践的な言語活動が多様に用意されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の発達段階に応じての教材の分量や、難易度に軽重をつけるなどの工夫が見られ、生徒の学習活動への丁寧な取り組みが期待できる。</li> <li>(2) 「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域においては、生徒の生活や必要感に応じた教材が、また、文章教材においては心情の発達段階にあった教材が多く、大変適切に選定されている。</li> <li>(3) 教材ごとに、目標・確認・読み深め・学習の窓・振り返りを明示することで、見通しを持って主体的な学習に取り組める工夫が大変適切になされている。</li> <li>(4) 学年や教材に応じて、適切な文字の大きさ、字体、字間、行間で表記されており、用途に応じた線や文字色などが工夫され、大変適切である。</li> <li>(5) 教材の内容理解に役立つ写真、さし絵、図表が豊富に掲載され、効果的な配色を考慮することで想像力を広げたり、理解を助けたりすることができるように配置されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主な文章教材や漢字に関する教材、練習教材、コラムなどからなる単元の配列により、系統的な指導が可能になるように大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(2) 単元相互に関連する領域が連続して配置され、系統的に言葉の力が習得できるように配慮されている。</li> <li>(3) 三領域の調和がとれる単元構成と共に、「読む」活動から「書く」活動へ展開する構成により、思考力・想像力が高められるよう、大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 伝統的な言語文化に段階的に親しむような教材が配置され、「書く」学習活動を関連付けて、知識・技能の習得を助けられるように配慮されている。</li> <li>(5) 写真、さし絵、図表などが適所、適量に配置され、学習内容に効果的に活用できるよう配慮されている。</li> <li>(6) 各教材の冒頭に学習の目標が明確に示され、自己評価の観点を示すなど生徒の主体的な学びを助ける配慮が大変適切になされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各領域ごとに練習教材が充実しており、習得した力を次の教材、上の学年の教材へと繋げ、積み重ねて学習することで力の定着を図ることができるよう、大変適切な配慮がなされている。</li> <li>・生徒の実態を鑑み、読書の価値を実感したり、情報活用力を培ったりできる教材が大変適切に配置されている。</li> </ul>

# 書 写

東 京 書 籍

学 校 図 書

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が身のまわりにある文字に関心を持ち、進んで文字を正しく美しく書こうとする意欲を高められるよう大変考慮されている。</li> <li>・書写で習得した技能を日常生活に広げられる配慮がなされている。</li> <li>・小学校の指導との関連、高校での書写の学びを配慮した内容となっている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校の復習として楷書を学び直し、その後に行書を習得する配列となっており、発達段階に応じた文字との関わりを配慮している。</li> <li>(2) 生徒が楷書で文字を書く際のつまずきを自ら乗り越えるための頁として8、9頁に「書くときのポイント」を設けてある。そこにはどの頁を開けば今のつまずきを乗り越えられるのか、また今の気付きを発展させられるかを生徒自らが理解し、練習できるよう配慮がなされている。</li> <li>(3) 「好きな言葉を書こう」「職場体験に向けて」といった生徒の日常生活に近い単元を多く取り上げ、身の回りにある文字と書写の時間で学んだ知識とを結び付けられるように適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 各学年で扱う単元とは別に約30頁の「資料」を付録してある。「資料」には生徒が日常で生かせる文書の書き方や楷書、行書どちらの手本もある常用漢字表が掲載されている。また、全体的に文字のコントラストは鮮明で手本として活用できる配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・単元の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文字を書くときの姿勢、筆遣い、点画の書き方、楷書、そして行書の書き方の指導といったように基礎的な内容から発展的な内容へと段階的に指導ができる単元配列が工夫されている。</li> <li>(2) 1年生の頁の中に「楷書のまとめ」があり、小学校で学び得たことをその頁を開くと分かるようになっている。また「資料」に漢字の成り立ちがあり、高校で学ぶ書写への意欲を高めるために活用することができる。また、毛筆の筆運びを擬態語で示したり教科書教材を硬筆の学習の単元として掲載したりして、生徒の関心を引く配慮がなされている。</li> <li>(3) 学年ごとにその時を生きる生徒の暮らしと密着した単元を適切に配置してあり、学び得た文字の書き方を活用できるよう適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 全頁カラーで各学年の頁は色で分けられている。どの頁を開くとよいかが一目で分かる工夫がなされている。また作品がどのような仕上がりになるかを挿絵や写真で例示してあり、生徒と教師がどのような作品を作ればよいかを想像できるように配慮されている。</li> <li>(5) 単元の最後に「振り返ろう」が必ず付き、生徒が何を学び得たかを自ら確認することができるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び得た文字の知識を生活に生かすことを大変意識した構成と内容になっている。</li> <li>・横幅をA4サイズにしてノート等の幅と同様にしている。書面を大きくしたことで単元名等が見やすくなっている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	学校図書（中学校 書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一した単元構成（毛筆練習→解説・理解→硬筆練習）が生まれ、毛筆や硬筆の基礎・基本の技能が確実に定着するよう配慮されている。</li> <li>・日常生活に役立つ事例や活用例が多く例示され、生徒が学習したことを生かせるよう工夫されている。</li> <li>・国語科の教材（現代文や古典）を掲載して教科書と関連させることで、生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 手本文字には既習した語を用い、文字の配置や字体の特徴などが詳細に示され、生徒が無理なく書写の基礎・基本の技能を習得できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 振り返りと自己評価を繰り返し、生徒自身が課題を見つけて解決する学習のプロセスを踏みながら、書写の技能を確実に身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>(3) 書写で獲得した技能を、日常生活や社会的活動で生かせるような作品例や実用例が多く紹介され、「目的や必要に応じて書く」意欲が高まるよう配慮されている。</li> <li>(4) 手本が見開き原寸大であったり、朱墨と薄墨を用いて解説をしたり、矢印で運筆を明確に示したりするなど、学習の要点を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 筆順、字形、文字の配置、字と字の調和などの要点が明確で、学習を積み重ねることで単元間、学年間の学習を深めることができるよう配列が工夫されている。</li> <li>(2) 教科書に硬筆で直接書き込んで学習のまとめをし、毛筆で獲得した技能を硬筆に生かしたり、両者を関連させたりして学習が構成できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「新聞作り」のような学習発表の例や、「のし袋の表書き」などの社会的活動の実用例が多く示され、書写で獲得した技能を生かした活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 朱墨と薄墨で視覚的に明示したり、書体の違いを比較できるように同一の様式で書かれていたりするなど、要点や相違を端的に示せるよう工夫されている。</li> <li>(5) 「振り返って」の欄では、生徒が複数の観点から学習を振り返ることができるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大単元ごとの色分けで単元のまとまりを明示する配慮がされている。</li> <li>・適宜配置されたコラム欄では、毛筆学習の意義を明示したり、「篆刻」などの発展的な内容を掲載したりするなど、生徒の興味・関心を引き出すよう工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	三省堂（現代の書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」「振り返ろう」という学習の流れの中で螺旋的に学習を深めることができるよう配慮されている。</li> <li>・普段の文字を読みやすく速く書くために、行書の基礎・基本を学び、日常生活で活用できる学習となるよう工夫されている。</li> <li>・相手（読み手）や場面に応じた効果的な技能を身に付けられる内容構成となるよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文字の整え方や組み立て方を確認しながら学習できる単元構成が組み立てられ、書写の基礎・基本を系統的に理解し習得できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 各単元は「考えよう、話し合おう」から始まり、「問いかけ」に対し生徒自身が考えたりグループで話し合ったりして、課題に気づきながら主体的に学習を深め、基礎・基本を習得できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「相手（読み手）にとって読みやすい文字を書く」といった相手意識をもって学習するために、書写の活用例を多く掲載して日常に生かせるようにしたり、縦書きでも横書きでもまとめることができるよう大変適切な配慮がされている。</li> <li>(4) 文字、図、写真などが適宜配置されているだけでなく、キャラクターを用いて学習のヒントを促したり、朱墨や薄墨を使った説明をしたりして、生徒が自分自身で気づきながら学習ができるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 楷書、行書、書写を生かした活動と既習した事項が、次年度へつながるような構成となっていて、螺旋的な学習を行えるよう配慮されている。</li> <li>(2) 毛筆の学習を硬筆で書いて確かめたり、硬筆で練習してから毛筆（仮名）に取り組みせたりするなど、毛筆と硬筆の特性を生かして学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(3) 各単元の間に適宜「生活に生かそう」という単元を織り込み、既習事項をすぐに生かせるような「願書」の書き方など、日常生活に役立つ例を示して主体的な学習が喚起させられるよう工夫されている。</li> <li>(4) 朱墨や薄墨を用いた筆遣い、筆脈を表す線が示された図など、図や写真がバランス良く配置され、分かりやすくなるよう工夫されている。</li> <li>(5) 「学習のまとめ」では、字形例と自分の文字を比較して課題を見つけたり、文字の状態を自己評価してから、次の単元に進むことができるように配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の表紙が和紙を基調とした落ち着いた色合いになっていて、日本の伝統的な文化を感じられるよう配慮されている。</li> <li>・巻末の常用漢字一覧表では、楷書と行書の両方が載せられていて、日常生活に役立つように配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育出版（中学書写）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある文字に関心を寄せて、文字を書くことの意義を考えたり、文字を正しく美しく書きたいという意欲をかきたてたりすることができるよう配列に配慮がなされている。</li> <li>・生徒が自ら文字を学べるようにするために、全ての単元で学習内容や手順が明確に示されている。</li> <li>・生徒の学校生活との関連を十分考慮した教材を設け、学び得た文字の知識を生徒の生活の中で生かすことを考慮した単元が設けられている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 <input type="checkbox"/> 内容の程度 <input type="checkbox"/> 学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎的、基本的な文字の書き方の定着できるようにするために、各学年で書き易く、美しい文字が選択されている。</li> <li>(2) 「考えよう」という項目を設け、生徒が考えたい学習問題を全ての単元に必ず明記してある点は大変適切である。また、「まとめ書き」という項目を設けて、生徒自らが学び得たことを確かめることができるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」という単元を設け、生徒が今までの国語や他教科で学んだことを美しく効果的に表現できるようにし、生徒の学校生活をより豊かにしていく工夫がなされている。</li> <li>(4) 全頁カラーで、左肩に学年色でどの頁がどの学年かが一目で分かるようになっていたり、文字は大変鮮明で、濃淡もはっきりしていたりするなど、見やすさへの配慮が大変適切になされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 <input type="checkbox"/> 単元・単元の配列 <input type="checkbox"/> 内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校で学んだ楷書の基礎的・基本的な知識を生かした文字の練習から行書の書き方の習得へと学びが移行できるよう適切に単元が配列されている。</li> <li>(2) 硬筆と毛筆の関連や系統的、段階的に学習が進められるよう各単元の中で毛筆を扱った書き方を示し、実際に毛筆での書き方を想像しながら硬筆で書く練習ができるよう工夫されている。</li> <li>(3) 国語で学んだ文章を正しく、美しく書くことができるようにする単元を各学年で複数設けることで、生徒が必要感をもって文字を書くことができる配慮が、大変適切にされている。</li> <li>(4) 挿入されている写真、挿絵は作品の出来上がりを生徒と教師が想像しやすく、活動の見通しをもつための工夫がなされている。</li> <li>(5) 全ての単元の初めに「目標」が明記され、単元の終末に「振り返ろう」という項目を設け、生徒と教師が何を学び得たかが自覚できるようにするための配慮が大変適切になされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標から振り返りまで全ての単元で共通した学習の流れが示されており、他書にはない本書の大きな特色であると考えられる。</li> <li>・国語の時間で学ぶ古典との関連を考慮した題材を設け、伝統的な文字文化に親しむ態度の育成を大切にするための工夫がなされている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">光村図書（中学書写）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能の習得と活動とを繰り返し学習することで、着実に、そして段階的に基礎・基本を身につけられるよう適切に工夫されている。</li> <li>・書写の学習で習得した知識・技能を、国語や他教科、学校の諸活動に活用する場面や方法が思い浮かぶような工夫がなされている。</li> <li>・書写の学習を通して、文字の歴史や伝統的な言語文化に親しみ、意識が高められるよう適切な配慮がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 毛筆・硬筆ともに生徒の発達段階に沿った適切な字体で示されている。教材は書写の技能を習得するのみでなく、言葉としても美しく豊かで価値のある文章が掲載されている。</li> <li>(2) 問いかけの学習課題に対して解決の元になる要素を直接書き込んだり毛筆の前に鉛筆でなぞり書きをしたりすることで、基礎・基本とともに必要な技能を段階的に身につけられるとともに、自信をもって主たる学習要素に取り組めるよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(3) 「資料編」に「日常の書式」「活用のヒント」の単元を設け、書写で習得した知識や技能を生活上の定型書式の中で生かしたり、教科や学校生活上の言語活動で役立てたりできる工夫が大変適切になされている。</li> <li>(4) 3年分の合本の中に学年ごとに見出しの欄が色分けされて明確に識別できるとともに、イラストを配した学習指示マークや課題解決のヒントを示すキャラクターなどで紙面の構成が視覚的にも統一され、学習の展開が大変適切に示されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             基礎的・基本的な知識・技能の習得と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 一教材一事項で構成されており、焦点化した学習を段階的に重ねることで確実かつ、効率的に基礎・基本の力がつくように配慮されている。</li> <li>(2) 主な教材には「学習の窓」の欄が設けられ、導入段階で基礎的な技能が押さえられ、さらにその後の学習で他の文字を書く際にも普遍的である原理・原則が身につくように工夫されている。</li> <li>(3) 学校の諸活動や生活に活かせる発展的な言語活動例が多様に収録され、教科書教材とつながるコラムも適所に織り込まれており、生徒の主體的な学習や多様な表現につながるよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 特にとまどいの大きい行書の学習では、朱墨によって筆脈や穂先の動きが把握できるように工夫され、筆使いも写真で示されて、毛筆の特性や要素が視覚的に分かりやすく理解できるように示されている。</li> <li>(5) 「目標の把握」から「振り返り」の学習の流れが統一され、目標に対する自己評価が焦点的かつ、確実にできるように大変工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「基礎編」を設け、小学校の学習内容が分かりやすくまとめられていて、小中の接続が円滑に図れるよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>・書き込み欄が充実していることに伴って、鉛筆で書きやすい紙面であるとともに、手本も1ページに収められていて大変扱いやすい。</li> </ul>

# 社 会(地理的分野)

東 京 書 籍

教 育 出 版

帝 国 書 院

日 本 文 教 出 版

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい社会 地理）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い視野から社会的事象の意味を理解し考察できるように、表現の仕様、単元の構成や配列など、大変適切な工夫がされている。</li> <li>・短時間で行える言語活動「確認」や「地理にアクセス」を設け、思考力・判断力・表現力を育むよう大変工夫されている。</li> <li>・インタビュー記事や「深めよう」などのコラムが大変充実しており、学習内容を身近なものとして感じながら主体的な学習ができるよう大変適切な配慮がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページで1単位時間を原則にし、豊富な資料とともに写真や文字の鮮明さ、文字の大きさや書体に留意し、見やすく印象的で読みやすい紙面になるよう大変適切な構成になっている。</li> <li>(2) 中学生が実際に活動する場面や身近なトピックを取り上げることで、自分の生活する社会への関心を高められるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(3) 「興味・関心を喚起する導入資料やキャラクターの問いかけ→学習のめあてを示す『学習課題』→丁寧に分かりやすい本文→学習内容をまとめる『確認』」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着するよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 身近な地域の調査では、調べ学習に必要なスキルを身につけ、地域の将来像を意見交換することで見方・考え方が深められるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(5) 地図やグラフでは、見分けやすい色や線種、ゴシック体のふりがなを使用し、さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるよう読み取りやすさや見やすさに適切な配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「地理スキルアップ」や「ワーク」を設定し、写真・グラフ・地図などの資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法を豊富に紹介し、地理学習に必要な基礎的技能を習得できるよう大変適切に考えられている。</li> <li>(2) 見開きの終末に短時間で取り組める言語活動「確認」を設け、思考・判断した内容をふりかえり、表現する力を身に付けられるよう適切な配慮がなされている。</li> <li>(3) 諸地域の学習では、「基本情報をおさえる概観部」「テーマに沿って学習をすすめる展開部」「特色をまとめる終結部」の段階に分け、目的意識をもって地域的特色を学習できるように大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(4) 環境破壊や地球環境問題、様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる「深めよう」や「地理にアクセス」を設け、課題意識が高まるよう大変適切な工夫がされている。</li> <li>(5) 写真や図表、イラストなどの資料を豊富に掲載し、それらを基にした作業学習を促す「えんぴつマーク」を適宜設けることで、資料の読解力を育成できるよう適切な配慮がなされている。</li> <li>(6) 各章の最後に「この章の学習を確認しよう」や「深めよう」を設け、定着の確認とふりかえり、新たな学習の発展が可能となるよう大変適切な配慮がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関連する写真や資料を豊富に掲載し、学習への関心や意欲を高められるよう大変工夫されている。</li> <li>・読み取る視点を適切に示し、段階的な言語活動で、思考力や判断力、表現力を身に付けられるよう大変適切な配慮がされている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（中学社会 地理 地域にまなぶ）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題図、地形図などを各所に配置し、地図の活用を中心とした地理的技術育成をはかるように適切な工夫がされている。</li> <li>・資料活用を中心とした読解力や表現力を培う学習が行えるよう適切な配慮がされている。</li> <li>・生徒が一市民として今日的な課題の所在やその解決について探究できるような特設ページやコラムが適切に配置されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の流れや学習の見通しをつかみやすいように、1時間の授業を見開き2ページで構成し、導入となる資料の配置とキャラクターの問いから学習が展開していけるよう適切な工夫がされている。</li> <li>(2) 学習の導入となる資料を補足・説明する「見てみよう」のコーナーを設けることで学習課題が位置づき、本文に進んでいけるよう適切な工夫がされている。</li> <li>(3) タイトルに学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題をおき、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(4) 章や節などの末尾に「学習のまとめと表現」のページを設け、自分なりの言葉で説明する活動ができるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(5) 資料との関連を示す番号や、前出・後出箇所との関連を示す参照ページ、関連ページを挿入し、判読しやすい配色や表示の仕方、文字の形状を採用し、生徒の学びやすさに適切な配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科書の冒頭に「地理にアプローチ」が設けられ、小学校で学習した地図やグラフに関する基礎的な知識を確かめる作業を位置付け、中学校第一学年へのスムーズな接続に適切な配慮がされている。</li> <li>(2) 本文の学習から興味や関心を広げていくコラム「地理の窓」を設け、個に応じた学びにつながるよう適切な工夫がされている。</li> <li>(3) 全編にわたり興味・関心を高める地図（主題図等）や写真などの資料が豊富に掲載され、「習得—活用—探究」の考え方をもとに、学習内容や学習活動を段階的に発展・進化できるように適切な配慮がされている。</li> <li>(4) 世界の各州や日本の各地方の事例をもとに「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」など特設ページを設け、今日的な課題の所在やその解決について探求する学習ができるように適切な工夫がされている。</li> <li>(5) 学習の流れに即して「読み解こう」のコーナーが設けられ、写真・地図・グラフなど具体的に資料を読み取りながら、考察する学習活動を重視できるよう適切な工夫がされている。</li> <li>(6) 学習ごと「ふりかえる」のコーナーを設け、基礎的事項の確認・整理や表現活動が段階的にできるよう適切な工夫がされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイドで見やすいA B判を採用し、興味・関心を高める写真・地図など豊富な資料を適切に配置している。</li> <li>・地域調査における学び方や言語活動などにより、社会参画の視点を取り入れた学習が深まるよう適切な工夫がされている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真などの豊富な資料をもとに、地域に生きる人々の営みの姿が見えるよう適切に工夫されている。</li> <li>・自然環境や生活・文化・産業など、それぞれの地域の特色が理解できるよう適切な配慮がされている。</li> <li>・現代の諸地域の動きや課題への取り組みをとらえるよう資料の配置が適切に工夫されている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各地域の導入写真で、これから学習する地域の姿をイメージさせたり、イラストによるわかりやすい「解説」を取り入れたりして生徒の発達段階を考慮して追究ができるよう大変適切な構成になっている。</li> <li>(2) 人々の営みの様子が写真や現地に住む人の話「声」のコーナーで紹介されているなど、興味・関心をもって追究できるよう大変適切な配慮がなされている。</li> <li>(3) 見開き2ページの中の導入資料や「資料活用」「確認しよう」「説明しよう」を手がかりに、学習課題の設定から追究まで生徒が主体的に取り組めるよう適切に配慮されている。</li> <li>(4) 身近な地域の調査では、調査結果から地域の課題や将来像を考えさせることで社会参画の態度を養い、社会事象に対する見方や考え方を深められるよう適切に工夫されている。</li> <li>(5) 導入の図版、写真、イラストがA B版の見開きページに大きく掲載されており、生徒の追究意欲を高めるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章の学習内容に合わせて、随所に「技能をみがく」のコーナーを設けることで、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能の習得という点において大変適切に考えられている。</li> <li>(2) 習得した知識を活用して考えさせる「トライアル地理」の特設ページが設けられ、自分なりの考えが持てるよう適切に配慮されている。</li> <li>(3) 日本の諸地域の学習では、序説において各地方の「考察の仕方」と具体的視点の例が示され、各学校の指導計画の作成ができるよう適切に配慮されている。</li> <li>(4) 日本の諸地域の学習の各節末に特設されたコラム「地域を探ろう」や「羅針盤マーク」では、現代の諸地域を取りまく動向や課題への取り組みがとらえられるよう大変適切な工夫がされている。</li> <li>(5) 本文に付けられた資料番号や解説によって、追究の流れに沿って学習できるよう配慮されている。</li> <li>(6) 単元末には「学習をふりかえろう」のページが設けられ、知識の定着や思考・判断・表現の力を評価できるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の様々な工夫や努力が見える資料を充実させ、新しい社会を生み出す創造力を育成できるよう適切な配慮がされている。</li> <li>・コラムのコーナーが充実し、生徒自身が興味・関心を持ちながら主体的に追究できるよう適切に工夫されている。</li> </ul>



採択基準 発行者名	日本文教出版（中学社会 地理的分野）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域におけるテーマや日本の諸地域における各視点を基に、地域的特色を追究できるよう適切な配慮がされている。</li> <li>・生徒が自分で判断し自分の言葉で表現することを促す学習活動が設けられ、地理的事象について考察できるよう適切な工夫がされている。</li> <li>・豊富な資料を基に現代の世界と日本の地域の多様性を理解できるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「連携コーナー」で、小学校や他分野との関係を分かりやすく示し、生徒の実態に応じて知識の定着が図れるよう適切な工夫がされている。</li> <li>(2) 導入資料で見開き内容の入口になる資料と問いかけを設定し、生徒の課題追究に対する意欲を高めるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3) 1時間ごとに学習内容を示し「学習課題」を本文冒頭に、追究終了後に振り返る「学習の確認と活用」を本文終末に配置することによって主体的に学習できるよう適切に構成されている。</li> <li>(4) 身近な地域の調査では、調査の手順やまとめ方を具体的に示し、私たちにできることを考えさせることで身近な地域の社会的事象に対する見方や考え方を深められるよう適切に構成されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインの観点から、図版中の配色や体裁にいたるまで光沢をやわらげて目に優しくするよう適切な配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「スキル UP」を適切に配列し、地理的技能を生徒の発達段階に応じて系統立てて習得できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 世界では州ごとに「自由研究」を、日本では地方ごとに「地域からのメッセージ」の学習を設け、学習したことのつながりや新たな動きを連続的に追究できるよう単元が適切に構成されている。</li> <li>(3) 学習の開始の際に、世界の各州や日本の各地方に対するイメージを写真で示し、生徒の興味を活かしながら指導計画を立案できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 現代社会の課題として「地理＋α」というコラムを設けて、興味・関心を高めながら体系的に学習できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 本文に関連する図版番号を付して関連を明確にしたり、「言語活動コーナー」で図版の内容を読みとらせたりすることで、生徒が学習の成果を実感できる大変適切な構成になっている。</li> <li>(6) 世界・日本の諸地域では、最初に地形、気候、歴史、人口、産業などの概要を大まかにつかみ、最後に「特設ページ」、「学習のまとめ」を設定し、学習内容を実感できるよう適切に構成されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追究資料を豊富に配置することで、地理的事象への興味・関心をもちながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>・生徒の既有知識を大切にした内容構成がなされ、興味・関心を高めながら主体的に追究する力が付くよう適切な配慮がされている。</li> </ul>

# 社 会(歴史的分野)

東 京 書 籍

教 育 出 版

清 水 書 院

帝 国 書 院

日 本 文 教 出 版

自 由 社

育 鵬 社

学 び 舎

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい社会 歴史）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得すべき知識や概念が過不足なく盛り込まれており、基礎的・基本的な知識・概念を定着できるように大変適切に配慮されている。</li> <li>・豊富かつ多様な資料が配置され、多面的・多角的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が育つよう大変適切に工夫されている。</li> <li>・人物にかかわるコラムが設定され、先人の活躍を取り上げることで興味・関心を高め、我が国の歴史に愛情をもてるように十分に工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページで、1つのテーマを1単位時間にて学習でき、なおかつ柔軟な指導計画を作成できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(2) 「歴史にアクセス」のコーナーが設定され、歴史に対する興味・関心の喚起や、視野を広げることができるよう十分に工夫されている。</li> <li>(3) 見開き2ページの中に、この1時間で学習する課題とその課題を解決するために必要な豊富な資料、まとめの方向が示されており、生徒が目的や見通しをもって学習に取り組めるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(4) 「調査の達人」のページの設定により、身近な地域の歴史を調べる事例を提示し、調べ学習に必要なスキルを身に付けたり、探究的な学習を主体的に進めたりできるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 鮮明な色の図表や線種でも見分けがつかないグラフを用いるなど、色覚特性がある生徒にも使用しやすいよう大変適切な配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「時代を概観→通史の学習→時代の特色をまとめる」という流れで単元を構造化し、「時代の特色」の理解が図れるよう大変適切に構成されている。</li> <li>(2) 各時代の導入部分に小学校での学習を振り返る場面を設けて中学校の学習との系統性をもたせたり、歴史以外の分野と関連させて学習することができるようにしたりするなど、大変適切に構成されている。</li> <li>(3) 「私たち歴史探検隊」のページが設定され、地域の歴史を調べまとめる学習が写真・図版で具体的に示されており、発展的な学習ができるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(4) 「深めよう」「歴史にアクセス」などのコラムを設け、本時の学習内容を基礎にして、環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和、領土問題などの、今日的な課題の解決のための意識や態度を育てるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(5) 地図をふんだんに使用したり、貨幣などの立体物は実物大で掲載したりするなど、歴史を視覚的に実感できるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(6) 各時代の最後に「この時代の特色をとらえよう」のページが設定され、比較表や年表でまとめる例が提示されており、多様な言語活動を用いて時代の特色をとらえられるよう、十分に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富で効果的に配置された資料や特設の項目により、追究への関心・意欲・態度が高まるよう大変適切に構成されている。</li> <li>・小中の系統性や地理・公民との関連性が考慮された教材とコラムにより、多面的・多角的に考察し表現する力を伸ばせるよう大変適切に工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育出版（中学社会 歴史 未来をひらく）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的事象を現代社会の仕組みや課題と関連させながら多面的にとらえることができるよう適切に工夫されている。</li> <li>・ 各時代の人々の営みについて確かな理解を図りながら主権者として共に生きる力を育むことができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・ 学習のまとめとして、自分の言葉で表現する活動が取り入れられており、言語活動が充実するよう適切に工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1時間の学習内容が AB 判見開き 2 ページで構成され、最初のページに学習問題をつかむ中心資料を、次のページに内容を深める資料を配置して、学習展開がわかりやすいよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 各節の単元構成が「世界の動き→日本の動き」の順になっており、時代背景を大局的にとらえることができるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3) 各章のまとめでは「学習のまとめと表現」のページが設けられ、年表や地図で学習内容を整理しながら、学んだ時代の特色を確かめることができるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 本文の学習に即して「読み解こう」のコーナーを設け、歴史資料を読み取り、考察する学習活動に取り組めるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインが採用され、明るく見やすい配色や表示になっている。巻頭の扉ページには点字の加工が施され、実際に触って実感できるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校で学習した歴史上の人物による時代区分や年表の見方を確かめる活動が位置づけられ、小学校における学習との関連がはかれるように適切に構成されている。</li> <li>(2) 「近代の幕開け」を第 5 章として独立して扱い、近現代史を重点化して扱うよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 歴史に関する興味や関心を広げる「歴史の窓」やテーマ学習のページが設けられており、様々な学習形態で、領土問題を含めた現代の課題についても追究できるように適切に配慮されている。</li> <li>(4) 世界文化遺産や国宝など文化遺産の写真を豊富に掲載し、郷土や日本の伝統と文化に対する愛情を深めるよう配慮されている。</li> <li>(5) 本文中の資料番号で資料とのつながりを示したり、歴史上の人物についてマークを工夫し小学校における学習とのつながりを表したりするなど、指導の利便性が図られるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(6) 学習課題と対応した「ふりかえる」のコーナーが設けられ、1時間の学習のまとめが段階的にできるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的事象への興味・関心を高め、歴史を学ぶ楽しさを実感しながら主体的に学習できるように適切に配置されている。</li> <li>・ 構造図や年表を活用し、各時代の大きな流れや特色をつかみやすいように適切に工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	清水書院（中学 歴史 日本の歴史と世界）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に取り組む調査活動を取り入れ、地域社会への理解を深めることができるよう十分に工夫されている。</li> <li>・世界史の中でも特に東アジア史との関わりを中心に、日本の歴史を大きな流れでとらえることができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・豊富な資料やコラムにより、生徒が歴史への関心・興味を喚起することができるよう十分に工夫されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き 2 ページで一つのテーマが設定され、疑問文で表現された学習問題が明確に示されており、生徒が学習内容について理解と考察を深めることができるよう十分に工夫されている。</li> <li>(2) 歴史の中に見られる興味深いテーマを取り上げたコラムが掲載され、歴史的事象に対する興味・関心が高まるよう十分に工夫されている。</li> <li>(3) 特設ページ「歴史のとびら」を設け、史料の扱い方や読み取り方、歴史研究における留意点が示され、生徒が主体的に調査学習に取り組むことができるよう十分に工夫されている。</li> <li>(4) 東アジア史・欧米史を中心に記述され、世界史的な背景から日本史を理解できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 判別しやすいユニバーサルデザイン・フォントによって本文を記し、図表等についても配色に留意して、色だけでなく、形でも判別できるように適切に配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校で身に付けた知識をもとに、時代ごとの特色を考えまとめる学習を序章に設け、Yチャート作成の学習を通して歴史の大きな流れをつかんだ上で、各章の学習に進めるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 章扉には、各章で扱う代表する写真を配置し、これから学ぶ時代を予測し、展望できるよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 特設ページの「もっと知りたい歴史」では、各単元の学習内容で興味を引くトピックが様々な視点から示されており、歴史的な事象を広い視野に立って考察できるよう適切に配置されている。</li> <li>(4) 世界史の中でも、特に東アジアと日本のつながりを重視し、系統的にとらえ、近隣諸国と友好的な関係を築いていく姿勢を育てられるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 文化遺産など写真資料や地図資料などを豊富に掲載し、世界の諸地域との関連の中で、伝統と文化を形成し発展させてきたことをとらえられるよう十分に工夫されている。</li> <li>(6) 章末には、生徒自身の言葉で表現させる問いが設けられており、的確な判断力や豊かな表現力が養えるよう十分に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本史を理解する上で必要と思われる世界史的な背景も充実しており、広い視野に立って、歴史をとらえられる学習ができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・写真や絵図・地図などを豊富に掲載し、文章も端的に平易に理解できるよう十分に工夫されている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時代の特色や日本の歴史の大きな流れをとらえるために「人々の営み」や「文化」を様々な視点でとらえることができるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>・歴史的事象を国内外の動きと関連づけながら多面的・多角的に考察し理解することができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・様々な資料を用いて興味・関心を高めながら、思考力・判断力・表現力が育成できるよう大変適切に配慮されている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な用語を分かりやすく説明した「解説」が54箇所設けられ、解説だけでは理解しづらい用語には図や写真を用いるなど、基本的な用語の定着が図られるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(2) 「江戸時代の新田開発（五郎兵衛新田）」や「満州移民（蚕糸王国長野）」など、時代背景と照らし合わせながら郷土の先人たちの知恵や努力などにふれることで、興味・関心を持ちながら歴史的事象を読み取ることができるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(3) 単元ごとに「導入（タイムトラベル）」「展開（学習課題・確認しよう・説明しよう）」「まとめ（学習をふりかえろう）」と分かりやすく配列されており、これらを手がかりに生徒が歴史を体感しながら主体的に学習に取り組めるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(4) 特設「歴史を探ろう」「トライアル歴史」のコーナーを設け、本文で学習した内容を具体的に深く考えることで、思考力・判断力・表現力の育成を促すことができるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(5) 本文はユニバーサルデザインフォントが使用され、誤読を防ぎ文字をはっきりと読み取ることができるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各時代の基礎・基本となる事柄を具体的に記述し、各時代の特色を大きな視点でとらえやすくなるよう大変適切に構成されている。</li> <li>(2) 各時代の導入には、小学校で学んだ人物やできごとを振り返る年表やイラストが設けてあり、小学校での既習内容を生かしながら中学校の学習にスムーズに入れるよう大変適切に構成されている。</li> <li>(3) 地域の歴史を調べる単元では、調査手法や視点が系統的に明示されており、調査に必要な技能を習得しやすいよう適切に配慮されている。</li> <li>(4) 「コラム」や「歴史を探ろう」では、自然環境・人権・交流・平和、ならびに産業の発達・領土問題などの現代および将来の社会が直面する課題の歴史的経緯を取り上げ、過去からの取組への理解が図られるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(5) 本文と資料の関連する箇所には、図や写真への適切な参照指示が記載され、学習内容を効果的に理解できるとともに、効率よく資料の活用ができるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(6) 本時の目標を示した「学習課題」と学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、学んだことを自分の言葉でまとめる振り返り学習がしやすいよう適切に工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「確認しよう」「説明しよう」「学習をふりかえろう」などが効果的に設けられ、言語活動が繰り返し行えるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>・各時代の文化や産業の発達が重視されており、その時代に生きる人々の営みや社会背景がとらえやすくなるよう大変適切に配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	日本文教出版（中学社会 歴史的分野）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した知識を活用して時代の特色をとらえることをねらいとして各編・章が構成されており、我が国の歴史の大きな流れが理解できるよう十分に工夫されている。</li> <li>・東アジア史を中心とした世界の歴史を背景としながら日本の歴史を大きな流れでとらえることができるよう十分に配慮されている。</li> <li>・時代の転換の様子や時代の特色について考え判断し、自分の言葉で表現する力を育むための十分な工夫がされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本文は1時間で見開き2ページとなっており、「学習課題」の設定と「学習の確認と活用」の提示により、授業展開や追究の見通しが把握できるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(2) 各時代に大判の「図版特集」を掲載し、各時代のくらしの様子など資料を読み取る学習の楽しさを味わい、各時代の特色を把握できるよう十分に工夫されている。</li> <li>(3) 自分の言葉で表現することを促す学習活動が各時代に設定され、生徒が学んだことを活用しながら各時代の転換の様子や時代の特色について考え、判断できるよう十分に工夫されている。</li> <li>(4) 身近な地域の歴史を調べる学習として、特設「でかけよう！地域調べ」を設け、作業的・体験的な学習を行えるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 本文ページ左端には、「時代・世紀のスケール」を配置し、学習している時代や世紀を確認しながら学習できるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各時代の特色や時代の転換にかかわる基礎的・基本的な歴史的事象を取り上げ、その因果関係が端的に記述されており、習得した知識を活用して時代の特色をとらえることができるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 生徒が学習したことを活用しながら、「時代の転換のようす」や「時代の特色」について考え、判断し、自分の言葉で表現する活動が各単元でできるよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 史跡や博物館の見学方法、歴史新聞づくり等の表現活動の仕方などが例示され、地域の調べ学習の参考になるよう十分に配慮されている。</li> <li>(4) 特設のコラム等により、今日的課題の歴史的背景や問題解決に取り組んだ先人の姿を詳しく取り上げ、生徒が自らの生き方に生かしていくことができるようにしたり、近代国家としての領土の確定の歴史について学習できるようにしたりするなど、十分に配慮されている。</li> <li>(5) 図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号を添えており、本文と図版を関連して読み取れるように十分に工夫されている。</li> <li>(6) 「学習の確認と活用」を設け、生徒が分かったことを自分の言葉で表現する活動が毎時間できるように適切な工夫がされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図版を豊富に掲載しており、生徒が資料を読み取りながら歴史を学ぶ楽しさを感じることができるよう適切な配慮がされている。</li> <li>・毎時間の言語活動を通して、生徒が歴史について考察する力や説明する力を育むことができるよう適切な工夫がされている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	自由社（新版 新しい歴史教科書）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に歴史の大きな流れを理解させるために、記述の因果関係を明示し、意味のある一貫したストーリーになるよう適切に構成されている。</li> <li>・日本人が受け継いできた公共の精神に関わる教材の選択が重視され、我が国を愛する態度が育成できるよう適切に配慮されている。</li> <li>・言語活動が重視され、生徒が自分の言葉で日本の歴史を語れるようになるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)歴史の前半では大まかな流れでとらえ、時代が進むにつれて細かい内容まで記述をし、生徒の発達段階に応じて近現代史を重視した学習がなされるよう適切に配慮されている。</li> <li>(2)生徒の興味や関心を高めるようなコラム記事が充実しており、時代背景や人物の活動の様子を詳しく学習し、幅広い知識と教養を身につけさせるきっかけとなるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3)「100字用語解説」のコーナーを設け、重要な歴史用語の解説がしており、生徒が調べ学習に主体的に取り組み、理解できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4)特設「地域の歴史を調べる」が設けられ、調査・体験的な学習が行われるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)我が国の伝統文化に関する写真資料が豊富で鮮明に載せてあり、伝統文化に対する興味・関心が高まるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)時代背景や歴史上の因果関係が一貫したストーリーとして詳しく記述されており、我が国の歴史の大きな流れが理解しやすいように適切に構成されている。</li> <li>(2)各単元は、1(日本人はどこから来たか)から91(21世紀の日本の進路)までの通し番号で表示されており、生徒に歴史の大きな流れを意識させながら学習を進めることができるよう適切に構成されている。</li> <li>(3)コラム記事が充実しており、本文に書かれている内容をさらに深め、より詳しく学習できるように適切に配慮されている。</li> <li>(4)我が国を中心として、近隣諸国を含めた歴史的関係について、歴史的背景や当時の社会情勢について詳しく記述され、生徒が主体的に考えられるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)日本人の精神文化に関する文字資料、写真、図版など様々な形式の資料が配置され、資料の持つ意味や価値が丁寧に解説されるなど工夫されている。</li> <li>(6)各単元の終末に「まとめにチャレンジ」のコーナーが置かれ、学習の要点が整理できるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の精神文化を尊重し、我が国の歴史への愛情を深め、国民としての自覚を育てるよう適切に配慮されている。</li> <li>・各単元で言語活動が重視され、生徒自身が主体的に追究できるよう適切に配慮されている。</li> </ul>



<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	育鵬社（新編 新しい日本の歴史）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の歴史と伝統・文化を尊重しながら、理解を深めることができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・歴史上の人物を多く取り上げ、歴史的事象を、当時の人々の思いやかわりなどと結び付けてとらえられるよう十分に工夫されている。</li> <li>・学習した内容をまとめ表現する活動ができるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) A B版見開き2ページに、学習課題を明確にしなが1時間の学習内容が構成され、学習展開がわかりやすいよう十分に工夫されている。</li> <li>(2) 「人物クローズアップ」など、コラムを豊富に設け、興味・関心を高めながら我が国と国民のために尽くした人物について学習できるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(3) 教科書の冒頭部分に「教科書の使い方」が掲載されており、効率よく、学習課題をもとにした1時間の授業を自ら進んで学習できるように十分に工夫されている。</li> <li>(4) 章末には、学習したことをもとに、調査・体験学習を促す「課題学習」が設けられており、社会的事象に対する見方・考え方が深められるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 判別しやすいカラーバリエーションへの配慮やふりがなや重要語句等は太字のゴシック体で表記し、読みやすいよう適切に配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 歴史的事象を自分ごととしてとらえ、歴史の連続性の中に自分があることを意識させる「歴史の旅を始めよう」「歴史の旅の終わりに」を設け、歴史に対する理解と愛情が深めるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 各章の冒頭には「歴史絵巻」が設けられ、時代の大きな流れを念頭に置いた学習ができるよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 「歴史ビュー」「歴史ズームイン」などのコラムにより、伝統や文化、宗教、領土問題といった歴史を多面的・多角的に考察・公正に判断し、適切な表現力を養うことができるよう適切に配慮されている。</li> <li>(4) 各章の章末には、多くの女性たちの活躍に着目し、「なでしこ日本史」として取り上げて、我が国の歴史の中で果たした女性の役割について理解できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 絵画や建築物などの伝統文化に関するカラー写真が大きく掲載されており、その特色を実感できるよう十分に工夫されている。</li> <li>(6) 各章の「学習のまとめ」では、学んだ内容を活用し、歴史を大観しまとめていくことができるよう十分に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な資料や多彩なコラムを取り入れ、生徒の興味・関心を引き出すことができるよう十分に工夫されている。</li> <li>・1時間毎や各章・巻末の「学習のまとめ」を通して、各時代の歴史を大観し、表現する学習ができるよう適切に配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	学び舎（ともに学ぶ人間の歴史）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史を背景にしながらか日本の歴史を理解し、前の時代と比較するなどして日本の伝統と文化の特色を考えるよう適切に工夫されている。</li> <li>・その時代に生きる人々の姿を中心的な教材として取り上げ、時代の特色をつかみ、我が国の歴史を尊重できるよう適切に工夫されている。</li> <li>・豊富な歴史地図や多様な絵・写真資料により、歴史的事象を多面的、多角的に考察する力を伸ばせるよう適切に工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章の学習内容や、文章表現、漢字の使用・ルビ振りは、想定される使用学年に即して、段階を追って進むよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 歴史の中の人々の姿を中心に教材にしたり、各章の冒頭に特色ある教材を示したり、時代の特色を印象深く学べるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3) 「歴史への案内」のページが設定され、地域の博物館を利用した調査活動の例が示され、身近な歴史について各校で工夫した指導計画を立てられるよう適切に配慮されている。</li> <li>(4) 各章の終わりに、「歴史を体験する」コーナーが設定され、調査の方法や具体的な調査の例を示し、身近な地域の人々のあゆみに目を向けて、生徒が自ら調査・探求できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(5) 教科書をA4版のサイズにして資料を大きく掲載したり、各学年の学習に資するように歴史地図を充実させたりして、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 背景となる世界史の教材を多様に設定しながら日本の歴史の流れを大きく把握できるように、近現代の学習は5つの章と64のテーマを設定して深く学習できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 時代の特色を理解しながら生徒自身が歴史像をイメージできるように、学習内容の構造化と焦点化を重視して各テーマを設定し、各章の関連を図るよう適切に配慮されている。</li> <li>(3) 「歴史への案内」のコーナーが設定され、博物館を使った調査活動の仕方が示され、発展的な学習を行えるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 時代ごとのテーマに基づいて、世界の状況を視覚的に分かりやすく示すなど、世界の歴史の扱いを充実させて国際関係や文化交流について深く理解できるよう工夫されている。</li> <li>(5) 年表のページに写真や表などの資料が掲載され、各時代の文化の特色を比較・関連させながら整理できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(6) 各章の終わりに「学習のまとめ」のページが設定され、各時代の特色を大観し、言語活動によるまとめが行えるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の具体的場面や、歴史の中に生きる人々の姿を通して、各時代の特色を理解できるよう適切に工夫されている。</li> <li>・近現代の学習を重視し、国際的な視野に立って平和で民主的な国家及び社会の形成者を目指すよう適切に工夫されている。</li> </ul>

# 社 会(公民的分野)

東 京 書 籍

教 育 出 版

清 水 書 院

帝 国 書 院

日 本 文 教 出 版

自 由 社

育 鵬 社

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい社会 公民）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民的分野の基礎的基本的な知識や概念、技能を確実に習得し、確かな学力を身に付けられるよう適切な工夫や配慮がされている。</li> <li>・ 現代社会が抱える今日的な課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力を習得できるよう適切に配慮されている。</li> <li>・ 急速な変化に対応し、よりよい社会生活を営むために必要な能力や主体的に参画する意識や態度を養えるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページで1単位時間を原則とし、平易な本文記述を心がけ、知識や概念が過不足なくもりこまれ、図表や写真等を通じて視覚的にも生徒が理解しやすいよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(2) 各章の学習を「興味・関心をもたせる導入部→学習を進める展開部→章の学習をまとめる終結部」という流れで単元を構造化し、基礎的・基本的な知識や概念を確実に習得できるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(3) 各単元の導入や「公民にチャレンジ」などで生徒に身近で具体的な題材を取り上げ、主体的に活動する場面を設け、豊かな表現活動をもたせて関心や意欲を高められるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 地域の課題解決や持続可能な社会の実現について考えられる活動を掲載することで、習得した知識や技能を活用し、生徒が主体的かつ積極的に社会参画する態度を養えるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(5) AB版で写真や図、イラスト、漫画など効果的かつ豊富な資料が掲載され、紙面を大変分かりやすく構造化し、学習内容が確実に定着するよう大変適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校や地理・歴史分野との円滑な接続に工夫がみられ、公民の基盤である人権・憲法学習から、政治、経済へと単元が配列され、既習内容と関連付けながら学習が深められるよう大変適切に構成されている。</li> <li>(2) 本文での学習内容を深化させた「深めよう」を設け、本文の内容を基礎にして、学習をさらに掘り下げられるよう大変適切に配慮されている。資料やコラムにマークを用い、作業学習ができる活動や興味がもてる話題、見方や考え方を深める題材、地理や歴史との関連が分かる色分けなど適切に構成されている。</li> <li>(3) 各章に「ディスカッション」「ディベート」「プレゼンテーション」といった多様な言語活動が展開できるような生徒に身近な題材をもりこみ、導入での活動を生かして単元展開できるような構成になっており適切に工夫されている。</li> <li>(4) 環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など、多彩な資料や生徒にとって身近で具体的な事例を取り上げ、今日的な課題の解決のための意識と態度を育てられるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 国宝・世界遺産等の写真にマークを付し、文化財を通して我が国の伝統や文化を尊重する態度を養えるよう適切に工夫されている。</li> <li>(6) 各章の最後に学習した知識・概念を確認する「この章の学習を確認しよう」を設け、思考力や判断力を高め、基礎の定着の確認ができるよう大変適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が関心・意欲をもち、理解しやすい身近な事象を通して変化する現代社会の様々な事象について多面的・多角的に考えを深められるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>・ 多様な言語活動を取り入れ、学習内容への理解を深めるとともに、思考・判断・表現する活動ができるよう大変適切に工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育出版（中学社会 公民 ともに生きる）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことができるよう適切な工夫や配慮がされている。</li> <li>・社会的事象を多面的・多角的にとらえ、今日的課題の解決に向けて多様な見方や考え方を深められるよう適切に配慮されている。</li> <li>・郷土や日本の伝統と文化に対する愛着を深め、社会に参画しようとする態度の育成ができるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の流れや学習の見通しをつかみやすいように1時間の授業に見開き2ページで構成されており、学習課題を明示したり、注による解説を設けたりするなど、追究しやすいよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 「公民の学習を始めるにあたって」や各章の「はじめに」で、どんな学習をするのか生徒が見通しをもてるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3) 豊富な写真やグラフ、新聞記事等から現代社会やそこに生きる人々の姿をとらえ、生徒が自ら課題をもてるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 「言葉で伝え合おう」のコーナーでは、社会生活を営むうえで大切な法やきまり、国民の司法参加について小学校の学習との関連が図られるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 政治や経済の複雑な仕組みや概念を、視覚的に分かりやすいイラストや図解で紹介し、生徒の意欲を高められるよう大変適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「現代社会」、「政治」、「経済」、「国際社会」の領域に分け、終章として課題の探求活動「私たちにできること」が配列されており、社会参画への意欲がもてるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 「ふりかえる」のコーナーでは、学習したことの基礎的事項の確認や社会的事象についての表現活動ができるよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 「読んで深く考えよう」では、テーマを掘り下げて考え、個に応じた学習が展開できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 「読み解こう」のコーナーでは、グラフ、写真、地図などの資料を読み取る活動を通して、社会の動きを考察できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインが採用され、配色やレイアウト、表現方法、文字などが生徒にとって学びやすいよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(6) 各章の終末の「学習のまとめと表現」では、言語活動の充実が図られており、学習してきたことを振り返ることができるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民社会を共に築いていくうえで必要な知識や技能を、自らの関心・意欲に沿って習得できるよう適切に配慮されている。</li> <li>・他者とのコミュニケーションを通じて、表現する力や社会的な見方や考え方を深められるよう適切に工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	清水書院（中学 公民 日本の社会と世界）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人と社会のつながりについて、個人の尊厳と人権尊重の立場から生徒が主体的に人権の意義を認識しやすいように適切な工夫や配慮がなされている。</li> <li>・経済活動について可能な限り具体的な事例を通して基本的な仕組みを理解し、今日的な課題に目が向くように適切に配慮されている。</li> <li>・地球規模の課題解決と人類の福祉増大、世界平和の実現に向け「公民」として主体的に取り組む姿勢を養えるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)見開き2ページを1単元に構成し、生徒の視点に立った記述を心掛け、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的な知識を習得しやすいように適切に工夫されている。</li> <li>(2)序章と各編の扉に、学習内容と深く関係する人物を取り上げ、興味関心を引き出し、様々な課題を考えられるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3)1単元ごとに1つのテーマを設定し、それを導入部に提示して生徒への具体的な問いかけを行い、生徒が課題意識を持って主体的に学習に取り組めるよう、適切に工夫されている。</li> <li>(4)「学習のはじめに」や序章「私という奇跡」において、個人の尊厳や社会生活についての身近な事例や詩を紹介し、ともに生きることや、目指すべき理想を見据えられるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)ユニバーサルデザインフォントを使用し、図版や地図には関連を重視して番号を付し、読み取りやすいよう適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)個人と社会のつながりについて、個人の尊厳と人権尊重の立場から考察させ、現代社会で生活する生徒が主体的に人権の意義の意義を認識できるように、大変適切に構成されている。</li> <li>(2)全体を通して、本文中に本文記述の関連事項の参照や巻末資料への参照を入れ、学習が有機的にできるよう適切に構成されている。</li> <li>(3)「もっと知りたい公民」「深める公民」という特設ページを設け、社会的事象や現代的課題について多面的・多角的に考察を行い、作業学習・調べ学習を行えるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4)現代社会において、特に人権、平和、地球環境は最も重要な課題として取り上げ、生徒が自らの課題としてとらえ、課題解決に向けて考えを深められるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)巻末には、憲法・規約等が掲載され、特に日本国憲法では難解な語句に解説を付け、生徒が理解しやすいように適切に工夫されている。</li> <li>(6)各編の最後にまとめのページを設け、基礎的・基本的な知識や技能の習得の度合いが確認できるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全編を通し、個人と社会の関わりを鋭い人権意識に基づいて考えさせるという基本姿勢を貫く、適切に配慮されている。</li> <li>・生徒の視点に立った記述で、身近な生活に即した題材を取り上げ、公民としての認識を深められるように内容が適切に工夫されている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に新しい社会の形成に参画する公民として必要な基礎的教養を培うよう適切な工夫や配慮がなされている。</li> <li>・「対立と合意」「効率と公正」の見方や考え方を全編で重視し、社会の諸問題を様々な立場から考察できるよう適切に配慮されている。</li> <li>・現実の社会の動きから関心をもって学習に入り、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力を育てるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1時間の学習内容が見開き2ページに構成され、ページの最後には「確認しよう」「説明しよう」の項目を設け、学習内容の確認とともに自分の言葉で内容を説明し整理できるように大変適切に工夫されている。</li> <li>(2) 見開きの最初に具体的かつ身近な導入資料「クローズアップ」を設置し、共感や驚きをもって学習を進められるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(3) 実社会で活動している人々の生の声を多数取り上げ、連続コラム「パン屋の経営者になってみよう」を設け、企業経営を疑似体験し、意志決定をしながら主体的に学ぶことができるよう大変適切に工夫されている。</li> <li>(4) 各部の初めの大きなイラストや資料の読み取り作業を通して、興味・関心を高めながら社会的事象に対する見方・考え方を深めるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>(5) 色覚に特性のある生徒も識別がしやすい色やユニバーサルデザインフォントを使い文字や資料が見やすいよう大変適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎的・基本的な内容を習得した上で、新しい社会を生み出す創造力を育成することができるよう適切に構成されている。</li> <li>(2) 単元構成が、身近な問題からよりグローバルな問題へと展開され、最後には自らの社会参画につなげられるように大変適切に構成されている。</li> <li>(3) 「トライアル公民」では、自分の意見をまとめたり、様々な立場から話し合ったりする題材が設けられ、コラムによって話し合いなどの基礎的な技能を習得できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 「羅針盤マーク」のコラムでは、現代及び将来の社会が直面する課題を、社会の一員として実感できるように適切に配慮されている。</li> <li>(5) 写真・さし絵・統計資料などをバランス良く配置し、全編を通じて、思考力・判断力を働かせ、「対立と合意」「効率と公正」などの見方や考え方を学べるよう適切に工夫されている。</li> <li>(6) 章末の「学習をふりかえろう」のページで学習事項を振り返って確認するとともに、「より良い社会をめざして」でレポート作成の手順を示し、論理的な言語活動ができるよう大変適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事例や現実の社会の具体例をあげて、その意義や背景について分かりやすい記述になるよう大変適切に配慮されている。</li> <li>・効果的な作業・活動を通して思考力・判断力・表現力を高めるよう大変適切に工夫されている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 日本文教出版（中学社会 公民的分野）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸問題に対して、多面的・多角的に思考し、大局的な観点から公正に判断できるよう適切な工夫や配慮がされている。</li> <li>・公民的資質の基礎を養うために、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度が育つように適切に配慮されている。</li> <li>・将来に向けて国際社会の平和と発展に寄与し、持続可能な社会について考え、行動していく態度が養えるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)見開き2ページに1時間の学習内容を簡潔にまとめ、追究する学習課題が明確に位置づけられ適切に工夫されている。</li> <li>(2)各章の冒頭にこれから学習する要点をイラストでわかりやすく示した「ナビ」が設けられ、生徒が学習内容を広い視野からとらえ、活用しやすいよう適切に工夫されている。</li> <li>(3)各所に「チャレンジ公民」のコーナーを配置して、学習したことをもとに、生徒が発展的な課題を主体的に追究することができるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4)具体的な作業学習を「アクティビティ」として提示し、現代社会の諸課題について考え、判断し、表現できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)本文に関連する図版番号を示し、図版資料との関連を明確にして、生徒の意欲が高まるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)巻頭に日本の現代史年表、世界地図と世界の現代史年表を設け、地理と歴史の学習を振り返った上で公民の学習を始められるよう適切に構成されている。</li> <li>(2)「対立と合意」「効率と公正」など、現代社会の見方や考え方の基礎を理解し、政治、経済、国際の学習の中で繰り返し吟味できるよう適切に構成されている。</li> <li>(3)「明日に向かって」のコーナーでは、社会参画・社会貢献の手がかりとなるように、生徒の将来に関連した内容が提示されており、学習への関心や意欲を高めるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4)「公民ズームイン」のコーナーを設け、写真やグラフ等の資料から現代社会の実情や課題について理解できるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5)「読み取ろう・考えよう・伝えよう」では、図版資料の内容を読み取ることを通して、思考・判断・表現が主体的にできるよう適切に工夫されている。</li> <li>(6)毎時間の学習の終末に「学習の確認と活用」を設け、語句を使って説明することを通して自分の考えを表現することができるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に対する関心を高め、基礎的・基本的な知識や概念、技能の習得が図られるよう適切に配慮されている。</li> <li>・思考・判断・表現につながる言語活動の充実が図られ、自ら考え、判断し行動できる資質や能力を高められるよう適切に工夫されている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	自由社（新しい公民教科書）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が公共の精神や愛国心を意識し、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さを自覚できるよう適切な工夫や配慮がされている。</li> <li>・歴史的事象をふまえながら系統的に記述するとともに、人々の営みや社会の様子に触れることで、現代社会の見方・考え方の基礎を養うよう適切に配慮されている。</li> <li>・ディベートや書く活動などを多く取り入れ、多面的・多角的に考察し、公正に判断し、表現できるよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	(1) 学習内容が見開き2ページごとに中心資料をもとにまとめられており、図版の説明や側注の記述に方向性を持たせることで、本文と関連づけながら理解を深められるよう適切に工夫されている。 (2) 学習問題や「ここがポイント！」と題した整理誘導指針を示して生徒の課題意識の方向を定め、解決につながる資料や図版を精選して主体的な学習となるよう適切に工夫がされている。 (3) 各章に「もっと知りたい」を位置づけ、生徒の興味・関心を高め、発展的な知識を習得しながら主体的に課題を追究していくことができるように適切に工夫されている。 (4) ディベートの進め方や実践例が示されており、対立から合意を形成していく過程などを体験的に習得できるよう適切に配慮されている。 (5) 鮮明で構図を工夫した写真や図版を掲載するとともに、簡潔な解説を加え、具体的なイメージが持てるように適切に工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価）	(1) 歴史的分野の学習をふまえながら、個人、家族、国家、国際社会へと発展的に学習が進められ、愛国心を涵養しながら理解を深められるよう適切に構成されている。 (2) 基礎的・基本的な内容の学習から系統的に反復して学習していくことにより、複雑な内容を構造的に理解できるよう適切に構成されている。 (3) 「もっと知りたい」「ミニ知識」のコーナーで、情報社会について「情報化とは何だろう」など数多くのテーマが設けられ、補充的な学習や発展的学習が展開できるよう適切に工夫されている。 (4) 日本古来の伝統や文化、国防・領土問題に関する記述や資料が豊富に掲載されており、生徒が社会の変容や歴史的背景をつかみやすいよう適切に配慮されている。 (5) 現代社会の課題に対して、多様な立場の意見をもとに生徒が自主的に判断していくことができるように挿絵や資料が適切に工夫されている。 (6) 終章でレポートと卒業論文を書く活動を位置づけ、生徒が自ら考え、表現する際に、まとめや評価の観点が明確になるよう適切に配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の精神や愛国心を扱い、我が国の伝統や文化を尊重し、市民的資質の基礎を培うよう適切に配慮されている。</li> <li>・現代社会の諸課題について、歴史的背景をふまえながら多面的・多角的に思考し、公正に判断できるよう適切に工夫されている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 育鵬社（新編 新しいみんなの公民）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や新聞記事など様々な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切な工夫や配慮がされている。</li> <li>・公民学習の意味を考えながら学ぶ構成になっており、公民として必要な基礎的教養を培うことができるよう適切に配慮されている。</li> <li>・社会の諸問題を「自分事」としてとらえて考えさせ、現代社会についての見方・考え方の基礎を養うよう適切に配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1時間の授業内容が見開き2ページにわかりやすくまとめられており、問題解決型の学習の流れとして「つかむ」「調べる」「まとめる」という観点が明確に位置づけられるよう適切に工夫されている。</li> <li>(2) 各章の導入に「入り口」のコーナーを設け、言語活動に取り組みながら興味・関心をもとに主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう適切に工夫されている。</li> <li>(3) 巻頭の「人生モノサシ」で、生徒が自分の人生と公民的分野の学習内容とのかかわりについて考え、「他人事」を「自分事」としてとらえる視点をもちながら主体的に学習できるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 新聞記事を多数掲載し、身近な資料を活用して社会的事象への見方や考え方を深められるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 図版に視覚特性をふまえた判別しやすい色を用い、文章中に判別しやすいゴシック体のふりがなを使用して、生徒の学習への意欲が高まるよう適切に工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の生活にかかわる課題を足がかりにしなが、興味や関心をもって学習を進められるよう単元配列が適切に構成されている。</li> <li>(2) 各章の導入の「入り口」で学習することの意味や学習する上での視点を示し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう単元構成が適切に構成されている。</li> <li>(3) 「やってみよう」のコーナーで、コラムをもとにした伝統と文化に関する豊富な教材を位置づけ、具体的な活動となるよう適切に工夫されている。</li> <li>(4) 地理的分野や歴史的分野での学習をふまえながら、領土問題などの日本や世界の諸課題を取り上げ、生徒が主体的に考える態度を養えるよう適切に配慮されている。</li> <li>(5) 巻頭と巻末の解説付き口絵や各章の表紙などに、大きく見やすい写真や資料を掲載し、学習課題をつかみやすいよう適切に工夫されている。</li> <li>(6) 各章の終末に「学習のまとめ」が位置づけられ、重要語句を確認しながら学習内容を振り返ることができるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や新聞記事を豊富に掲載して、幅広い知識を身に付け、多面的・多角的に考察し、公正に判断できるよう適切に配慮されている。</li> <li>・学ぶことの意味を考え、興味・関心をもとに主体的に学ぶ態度が養われるよう適切に工夫されている。</li> </ul>

# 地 図

東 京 書 籍

帝 国 書 院

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	東京書籍（新編 新しい社会 地図）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開に沿って活用する資料を明確化することで、知識・技能等の定着や思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。</li> <li>・一つの事象を異なる視点から捉えた資料や異なる方法で表現した資料を提示し、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。</li> <li>・主体的に社会に参加する意識や態度を養えるよう、具体的な人の姿や日本について考える資料が適切に掲載されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 土地利用や断面図など、教科書の情報を補完する資料を掲載し、概観に必要な資料が参照しやすく適切に配置されている。</li> <li>(2) 学習展開に沿った活用しやすい資料を選定し、学習の各段階で活用する資料が明確になるよう適切に構成されている。</li> <li>(3) 一般図や主題図といった地図とともに、写真やグラフなどの資料を豊富に掲載し、さまざまな事象を具体的にイメージしやすくなるよう大変工夫されている。</li> <li>(4) 一般図を明るい色づかいにし、地図中に示される情報を整理して文字情報を見やすくし、読み取りたい内容が探しやすくなるよう適切な工夫がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「一般図」「全体資料」「基本資料」「テーマ資料」「統計資料」で構成され、生徒が自らテーマに沿って考察し、理解を深められるよう適切に配慮されている。</li> <li>(2) 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させることができるよう大変工夫されている。</li> <li>(3) 自然災害やエネルギー、我が国の領域についての資料を掲載し、東日本大震災後の防災・安全教育など今日的課題について理解できるよう適切に構成されている。</li> <li>(4) 写真を豊富に掲載し、実際に触れる機会が少ない世界も生徒が地域のイメージを持ちやすくなるよう大変工夫されている。</li> <li>(5) 巻頭に「この地図の地図記号・活用方法」を設け、地図帳の構成要素を解説するとともに、具体的な活用例を示し、地図帳の使い方を確実に定着できるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の3分野の学習内容に沿った資料を選定し、教科書と合わせて学習することで学習効果が高まるよう配慮されている。</li> <li>・世界・日本の社会の諸課題をとらえたり、地理的事象、歴史的事象を多面的に考察したりする際に活用できるよう適切に配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	帝国書院（中学校社会科地図）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界・日本の諸地域に関する幅広い知識の習得や日本や世界の課題について学習することができるよう資料が構成されている。</li> <li>・世界・日本の現状や諸課題について学ぶ中で、社会形成に参画する意識を育むことができるよう配慮されている。</li> <li>・大観学習を重視し、鳥瞰図や大観図、衛星写真を配置し、世界・日本の諸地域に興味・関心が持てるよう大変工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	(1) 一つの図の記載要素を減らし、複数の図から総合的に読み取れるよう大変工夫されている。 (2) 資料図の導入部にイラストや絵記号などを用いた大観図「ながめてみよう」を設け、日本の諸地域の特徴をつかむことができるよう大変工夫されている。 (3) 「土地利用表現」と「等高段彩表現」を併用し、さらに産物等の絵記号を記載し、風土や産業が端的にわかるよう大変工夫されている。 (4) 国名等の赤文字には黒色の縁取りをしたり、国を塗り分ける色やグラフ等の色を混同しにくい配色としたりして誰にとっても識別しやすい工夫が大変適切にされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	(1) 江戸時代の地図等や環境問題、宗教に関する資料を配置し、歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう適切に構成されている。 (2) 地図・資料図の縮尺を揃えたり、地域の特徴や差異を捉える巻末の統計資料を配置したりして比較が簡単にできるよう大変工夫されている。 (3) 防災・文化・自然環境に関する資料を配置し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう適切に配慮されている。 (4) 視覚的に大観できる「鳥瞰図」やその地図がどこに位置するかが端的にわかる「位置図」を掲載して、地域の特徴を捉えられるよう大変工夫されている。 (5) 地形図を読み取るための具体的な手順を示したり、「地図をみる目」、「やってみよう」などの学習課題を設けたりして、生徒自身が地図を読み取る力を身につけられるよう大変工夫して構成されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に捉えられるような地図や資料を掲載し、各地域の多様な姿や変化の様子を捉えられるよう大変工夫されている。</li> <li>・日本や世界の課題に関する資料を多く配置するとともに、歴史的分野や公民的分野でも幅広く活用できるよう適切に配慮されている。</li> </ul>

# 数 学

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

数 研 出 版

日 本 文 教 出 版

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい数学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習を基にして数や図形の性質を見つけたり、数学を利用して問題を解決したり、考えを説明し合ったりする数学的活動を促すことで、数学的な思考力や表現力が向上するよう配慮されている。</li> <li>・学びのつながりを提示することで、既習事項の確認やくり返し学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・他教科や総合的な学習と関連付けて扱える課題を取り上げることで、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「例」の次に「たしかめ」を設け、「例」の内容の理解を確実にしてから「問」に進むスモールステップの構成にしておき、個人差にも対応できるよう工夫されている。</li> <li>(2) 学習のまとまりごとに「学習課題」を明示し、学習に見通しを持ち、数学的活動に主体的、意欲的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「学び合いのページ」では、多様な考えが出やすい問題を取り上げ、式や図などを使って説明し伝え合う言語活動が充実できるよう構成されている。</li> <li>(4) 既習事項を確認するものにタグを付ける、定着が不十分なものを「ちょっと確認」で取り上げるなど、分からなければ自分で確認できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 全ページにわたって CUD に対応した配色やデザイン・文節改行を取り入れる、本時で取り上げる問題を囲み、他と区別しやすくするなど、すべての生徒が読みやすい紙面になるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 素因数分解の位置（1節「平方根」と2節「根号をふくむ式の計算」の間）など、学習がスムーズに流れるよう単元が構成されている。</li> <li>(2) 2年の「文字式の利用」で扱う文字を用いた表現を1年で扱い、スパイラル学習ができるようにするなど、学力調査に見られるつまずきに対応できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 実生活や他教科の学習に活用する問題をすべての章末、巻末に掲載するなど、数学の有用性を実感できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「数学マイノート」では、思考の過程や気づき、感想などノートづくりのポイントが示されており、考え表現する力が伸ばせるよう配慮されている。</li> <li>(5) 「生徒キャラクターの吹き出し」は生徒の目線で「数学的な考え」や「気づいたこと」、「ナビキャラクターの吹き出し」は教師の目線で「補助的な発問」や「注意事項」などを取り上げており、指導上の参考になるよう工夫されている。</li> <li>(6) 3年巻末の「学びのつながり」では、枠の色と形で学習の関連がとらえられるようにし、つまずいた内容は学年を超えて学び直すことができるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節の導入では、学校生活など生徒の生活経験に即した身近な題材を多く取り上げ、意欲を持って学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>・家庭学習での利用を考慮し、課題解決の手順を示したり、読み物を増やしたりするなど、生徒が自ら取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	大日本図書（新版 数学の世界）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 基礎的・基本的な内容の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察できるよう構成されている。</li> <li>・ 数学を学ぶことのよさを実感し、それらを活用して考え判断しようとする態度を育てるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章の学習活動においては、既習事項との関連を重視し、導入部分を丁寧に扱っており、これまで学んだことを振り返ることができるよう構成されている。</li> <li>(2) 数学的な思考力、判断力を養い、学習した内容を活用する力を育てるために、各ページの学習活動は、予想をしたり、解決の仕方を考えたりする過程を大切にし、数学的活動を充実させるよう配慮されている。</li> <li>(3) 巻頭で数学的活動を通して学ぶことについて具体的に示すとともに、見通しを持って問題を解決したり、言語活動の充実を図ったりしながら、生徒が主体的に活動できるよう構成されている。</li> <li>(4) 学習した内容の定着を図るために、節末の練習問題や、章末や巻末の豊富で多様な問題によって、繰り返し練習できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 振り仮名の書体にはユニバーサルデザインフォントを使用したり、学年ごとに文字の大きさを変え色遣いに注意したりするほか、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組めるように、口絵や各章の扉には、美しい写真を数多く取り入れるなど工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章とも、単元のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容を数学的活動を通して学べるように、学習の流れが分かりやすくなるよう配慮されている。</li> <li>(2) 導入を特に丁寧に扱い、側注に「思い出そう」を設け、既習事項の振り返りを入れたり、節末の「練習」で A 問題の類題を B 問題で出題したりするなどして、基礎・基本が習得できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 補充問題の「プラス・ワン」や章末の「章の問題」、巻末の「まとめの問題」や「もっと数学」などの補充・発展問題で、個に応じて主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(4) 各学習単位において、「導入問題」「学習のねらい」「学習活動」「まとめ」「適応問題」という見開き単位で完結され、数学的活動を重視した流れで学習ができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 他教科の内容や学習した内容を日常生活と関連付けた題材を提示し、章末の「社会にリンク」や、巻末の「Mathful (マスフル)」で、数学と社会とのつながりを実感できるよう工夫されている。</li> <li>(6) 知識の定着を図る問題や学んだことを生かして解決できる問題、多様な考え方でできる課題などを各学習段階に配置することで、幅広い知識と教養が確認できるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見開き単位のわかりやすい構成で、数学的活動を通して学べるよう構成されている。</li> <li>・ 数学を学ぶことの意義や有用性を感じ、数学を活用する力を育て、「生きる力」を育み、豊かな人間性を養えるよう配慮されている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	学校図書（中学校数学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のつながりを意識させ、主体的に学習に取り組む態度を育て、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう配慮されている。</li> <li>・協同学習を通して、言語活動を意識し、話し合いやレポート作成などの活動を通して、表現力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>・身のまわりの事象を学習した数学的な見方や考え方・知識や技能を活用して解決することを通して、思考力や判断力が身に付くよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 <input type="checkbox"/> 内容の程度 <input type="checkbox"/> 学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)各単元の導入では、具体的な事象や興味・関心を喚起する題材を提示し、観察や操作活動を通して単元のねらいをつかみ、多様な考え方を生み出せるよう配慮されている。</li> <li>(2)小単元の最後に、次の小単元につながる問いかけが用意され、つながりを大切にした内容構成となっており、見通しを持った追究ができるよう工夫されている。</li> <li>(3)「伝える」「見つける」「活用する」マークで、問題の意図を明確にして主体的に追究できるよう配慮されている。</li> <li>(4)「ふりかえり」で小学校算数やこれまでの学習内容を想起し、小単元末の「確かめよう」や単元末の「まとめの問題」で復習し、「クローズアップ」で学習内容が深められるよう配慮されている。</li> <li>(5)導入は見開きページでさし絵や写真をふんだんに使って生徒の興味を喚起し、本文では、余白を大切に、図表や吹き出し・アドバイス等は生徒の思考を邪魔しない程度におさえられており、配色も見やすくなるよう構成されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 <input type="checkbox"/> 単元・題材の配列 <input type="checkbox"/> 内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)身のまわりのことがらを題材に導入し、基礎的・基本的な内容から発展的な内容となるように配列することで、数学を通して事象を考察し、段階的に学習できるよう配慮されている。</li> <li>(2)単元の内容が確実に定着するように、例題が段階的に示され、例題とその後の問を解くことで、系統的に学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>(3)章末の「深めよう」では、学習したことをさらに深めたり広げたりできる内容を取り上げ、巻末の協同学習のページでは、日常的な課題や領域横断的・教科横断的な課題に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(4)生徒がつまずきやすい問題は、考え方が示され、ノート形式で模範的な解答が示されており、見通しを持ち筋道立てて考えることのよさが実感できるよう構成されている。</li> <li>(5)各章の要所で生徒が抱く疑問を「クローズアップ」で取り上げ、記号や用語の由来・発展的な内容を解説し、指導に生かせるよう配慮されている。</li> <li>(6)章末のまとめの問題は、基本・応用・活用に分かれ、個に応じた指導に生かせるようになっている。問題数も充実させ基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解や習熟の程度に応じて学習が進み、生徒自らが自分の課題を明確にして主体的に学習を進めることができ、基礎的・基本的な内容が確実に習得できるよう工夫されている。</li> <li>・数学の有用性を実感できるように身近な問題を数多く取り入れ、進んで数学を活用しようという態度を育成できるよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育出版（中学数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学的活動の充実を重視し、「みんなで数学」などを位置付けて説明する活動を促すなど、思考力や表現力が育成されるよう配慮されている。</li> <li>・ 「たしかめ」などの多数の問題の配置や、領域ごとの「練習問題」の配置により、基礎・基本の確実な習得がなされるよう構成されている。</li> <li>・ 学習の必要性を実感させる「章のとびら」や、「チャレンジコーナー」「自由研究」などを設け、興味・関心に応じて主体的な学習が継続できるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 親しみやすい具体的な話題を導入問題とし、既習事項と関連付けながら生徒の多様な考え方や処理の仕方を生み出せるよう構成されている。</li> <li>(2) 学習の見通しを持てるように、問題に「伝えよう」、「深めよう」、「話し合おう」のラベルを付け、数学的活動を促すことで論理的な思考力の伸長を図れるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「章のとびら」や「Let's Try」では、教科書紙面を使って操作活動ができるようになっており、生徒が疑問を抱き主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(4) 章の入口での「1章を学習する前に」や、本文中の「もどって確認」などで、既習内容を確認することができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 小中間のギャップを軽減するために、中1の1章・2章については全体の文字を大きくするなど、判読しやすい配色・レイアウト・表現方法を用い、学びやすく興味・関心を高められるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元において、数学的活動を通して基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力を高め、数学のよさを実感するという一連の流れを意識した配列になるよう工夫されている。</li> <li>(2) 章のはじめに復習問題を扱い、具体的な場面で導入がなされ課題意識をもって「学習のまとめ」や「練習問題」へ進むようになっており、既習内容を基に学習の積み重ねと系統性を図れるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「もどって確認」等で既習事項を振り返る場面が用意されたり、「数学の広場」や「実力アップ問題」などの発展的な話題や問題が設定されたりしており、個に応じた学習に生かせるよう構成されている。</li> <li>(4) 問題を解決する過程において、必要な考え方や既習事項が示されており、見通しを持ち筋道を立てて考えたり表現したりすることのよさが分かるよう配慮されている。</li> <li>(5) さし絵によって具体的事象を連想しやすくしたり、キャラクターの吹き出しによって考え方のヒントが示されたりと、指導に生かせるよう構成されている。</li> <li>(6) 章末問題に評価の観点が見記されており、確実に学習内容が身に付いたか把握できるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各章の入口で既習事項の確認をしたり、まとめの穴埋め形式の問題で基礎事項の確認をしたりするなど、系統的に表現や処理の仕方が習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 具体的事象の考察や数学的活動を通して、興味を持って意欲的に学習でき、個に応じた学習が進められるよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">啓林館（未来へひろがる数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の定着・向上のために、各単元に数学を利用・活用する場面が適切に配置され、思考力が養えるよう工夫されている。</li> <li>・数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題が適切に位置付けられており、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるよう配慮されている。</li> <li>・小中の系統性を意識して学習できるよう、別冊に各単元の既習内容の学び直しを位置付けるなど基礎・基本の定着を図れるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元の「千思万考」、巻末の「ひろがる数学」に加え、ヒントとなるキーワードや吹き出しが適切に配置されており、生徒の多様な見方・考え方や処理の仕方を生み出せるよう工夫されている。</li> <li>(2) 根拠を明らかにし筋道を立てて説明したり、自分のことばで伝えたりする場面が適切に配置されており、お互いの考えを深め合えるよう工夫されている。</li> <li>(3) 数学的活動を取り入れた「学習のとびら」が各節ごとに配置されており、興味・関心を持って主体的に学習できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 章末問題や「力をつけよう」に、既習内容の確認ができる問題が配置されており、くり返し学習によって内容の習得・定着を図れるよう配慮されている。</li> <li>(5) 全体的に落ち着いた色使いになっており、番号やマークをパターン化することで、生徒が主体的に学習場面の理解をしたり思考を深めたりすることができるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小中の系統性やスパイラル学習が重視されており、学習のまとまりを細かく「節」に分けることで、身に付けるべき学習内容が明確になるよう単元の構成や配列が工夫されている。</li> <li>(2) 「例」「例題」が生徒の学習段階に応じて系統的に配置され、基礎的・基本的な内容が身に付くよう構成されている。</li> <li>(3) 別冊の「学びをいかそう」、巻末の「数学広場」など、日常生活と関連する問題や複数の領域と関連付けた問題等が配置されており、学習内容を補充・発展的に扱えるよう配慮されている。</li> <li>(4) 条件がえをする問題が各所に配置されており、「見方・考え方」の看板を用い「条件がえをする」と表記することで、生徒が問題の意図を理解しながら、見通しを持ち筋道を立てて考えたり表現したりすることのよさが分かるよう工夫されている。</li> <li>(5) さし絵等が適切に配置されているとともに、文章問題中の数量とことばの式の色表示を対応させる等、理解の助けになるよう工夫されている。</li> <li>(6) 「基本のたしかめ」の「学習したこと」に、つきたい力を言葉で表記したり、学習内容のポイントを吹き出しで示したりする等、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパイラル学習による基礎・基本の定着と、利用・活用の場面を多く取り入れることで思考力・判断力・表現力が養えるよう工夫されている。</li> <li>・本冊と別冊の2部構成とすることで、習熟度別・少人数指導など、多様化する学習形態への対応とともに、学習の幅をさらに広げ、深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">数研出版（中学校数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校算数からの円滑な接続、既習事項からの円滑な接続に留意した上で、以降の数学学習の基盤ができるよう工夫されている。</li> <li>・数学的活動を通して、習得、活用、探究の各場面を的確に設定し、基本的な概念の理解を深めるとともに、数学的知識や技能が幅広く身に付くよう構成されている。</li> <li>・既習事項を活用してものごとを考えたり身のまわりの事象から数学を見いだしたりできるような身近な題材を扱い、数学への興味・関心を喚起することができるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校ならびに各学年の指導事項の体系に留意した単元配列がなされ、以降の数学学習の基盤ができるように「クイックチャージ」で既習内容を確認し、なだらかな学力向上が目指せるよう工夫されている。</li> <li>(2) めあてを示したり、数学的活動に直接関連する小項目に「Q」「考えよう」「やってみよう」といったマークをつけたりして、数学的活動を通して学習できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 本文のていねいな説明と、生徒の気付きを促す発問の記述などにより、生徒が自ら進んで取り組み、主体的に学習できるよう構成されている。</li> <li>(4) 「クイックチャージ」「各章の学習」「チャレンジ編」の3部構成でなされ、学び直しにも留意し、繰り返し学習ができるよう工夫されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインを取り入れ、活字・図・グラフは、視覚的に意図が伝わりやすく、生徒の興味・関心が高まるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 既習事項からの円滑な接続に留意した教材選定と単元配列がなされ、なだらかに学習できるよう工夫されている。</li> <li>(2) 「例」では内容を理解するための平易な具体例を示し、「反復」「確かめよう」では、例と同じタイプの反復問題を必要に応じて行い、「問」では、例の内容が確認できるようになっており、十分な演習量を確保し、基礎的・基本的な内容が確実に身に付くよう工夫されている。</li> <li>(3) 問題が平易なものから発展的なものまでバランスよく扱われ、「発展」の項目は、さらにすすんだ数学に触れ、理解を深めることができるよう配慮されている。</li> <li>(4) 「考えよう」では、既習事項をもとに見通しを持ち、筋道立てて考えたり表現したりすることのよさが分かるよう配慮されている。</li> <li>(5) 図やグラフはかき込みができるようになっており、重要事項は下線を引く・枠で囲むなどして、基礎となる概念を確実に指導できるよう構成されている。</li> <li>(6) 章の問題では、標準的な問題を中心に様々な問題が準備されており、単元全体にわたる学習事項を確実に理解できるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なだらかな学力向上を意識して、学び直しに留意し、十分な演習量を確保し、基礎・基本が確実に身に付くよう工夫されている。</li> <li>・自ら考え主体的に学べるように、生徒の興味・関心を喚起させ、数学的活動を通じた学習の場面が多く設定され、課題を解決する能力が身に付くよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">日本文教出版（中学数学）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらいや内容の展開を分かりやすくすることにより、基礎的・基本的な内容が習得できるよう配慮されている。</li> <li>・数学的活動を通して学んだことを深めたり、発展させる学習を設けたりすることにより、数学的な考え方が身に付くよう工夫されている。</li> <li>・身近なことがらと数学との関わりや数学の歴史を示すことにより、数学のよさや有用性を実感できるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)各章の導入にあたる「章の扉」では、学びの必然性を重視した課題や身近な話題を扱うことによって、生徒の学習意欲が高められるよう配慮されている。</li> <li>(2)各単元では、言語活動を促す場面を多く取り入れることにより、表現力を伸ばせるよう工夫されている。</li> <li>(3)キャラクターが学習のきっかけとなる気づきを示したり、表現の仕方を例示したりして、多様な学習活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(4)既習事項を思い起こしたり、振り返ったりするために、「次の章を学ぶ前に」「ふりかえり」を設け、復習や学び直しができるよう工夫されている。</li> <li>(5)文字の大きさや行間隔の取り方を読みやすくしたり、図表やイラスト等の配色を鮮明にしたりと、紙面にメリハリをつけ、集中して学習できるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)各章とも、基礎的・基本的な内容の習得と学んだことをさらに深めたり発展させたりすることができるよう、系統的に単元が構成されている。</li> <li>(2)章末には、基礎的な技能の問題である「くり返し練習」、巻末には基礎的な内容を中心に振り返る「A 問題」が設けられ基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>(3)章末には数学的な見方・考え方を深める「とりくんでみよう」、巻末には、活用する力を伸ばす「B 問題」が設けられ、数学の活用や個に応じた指導に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(4)「説明しよう」「説明できるかな」では、方法や理由を説明する活動を通して、数学を活用して考える学習指導ができるよう工夫されている。</li> <li>(5)数学的な用語や既習内容の確認が吹き出しで示されたり巻末に用語等の索引が設けられたり、生徒の学習に生かせるよう配慮されている。</li> <li>(6)まとめが色付けされ、端的に記述されており、評価の観点が明示された「基本の問題」と「章のたしかめ」により、学習内容の定着の程度が把握できるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び直しを有効な場面で構成することにより、基礎的・基本的な内容を確実に習得できるよう配慮されている。</li> <li>・数学的活動が設けられており、学んだことを深めたり、言語活動を積極的に取り入れたりすることにより、表現力が身に付くよう工夫されている。</li> </ul>

# 理科

東京書籍

大日本図書

学校図書

教育出版

啓林館

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい科学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の不思議さや科学の楽しさを伝え、日常生活や社会との関連を図り、科学を学ぶ意欲が高まるよう配慮されている。</li> <li>・探究的な活動の流れが見え、主体的な取り組みを促すことで科学的な思考力・表現力が自然に養われるよう配慮されている。</li> <li>・つまずきが多い箇所にも例題→練習→確認というスモールステップで演習する場面を設定し、学力の底上げを図る工夫が丁寧になされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習の系統性を重視し、「これまでに学んだこと」で既習事項を確認したり、「他教科で学んだこと」で教科横断的な内容を取り上げたりするなどして生徒の中で学習内容が統合されるよう適切な配慮がされている。</li> <li>(2) 生徒の素朴な見方や考え方を揺さぶる「推測しよう」などの活動が探求の流れの中に設定され、効果的な言語活動によって科学的な思考力・表現力が自然と育つようよく配慮されている。</li> <li>(3) 導入に「レッツ トライ！」を設けたり、各章の冒頭にダイナミックな写真資料を用いたりして、学習に入りにくい生徒も興味・関心を持ち主体的に取り組めるよう丁寧に配慮されている。</li> <li>(4) 各実験・観察に安全のための注意を明示するだけでなく、巻頭に「理科室の決まり」を掲げ、生徒に危険防止を促す配慮がされている。</li> <li>(5) ユニバーサルデザイン書体の使用や、色覚に関する個人差への考慮に加え、1年用は文字サイズを大きくするなど、読みやすくなるようデザイン上の細かな配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元の内容の関連性や教材の入手時期などを考慮して単元を配列することで、生徒の科学的概念が形成しやすいよう配慮されている。</li> <li>(2) 学習後に言語活動「学びを活かして考えよう」などを設定し、内容の理解が深まるよう工夫されている。また、日常の経験や既習事項から生じた新たな疑問をもとに連続して学習が展開し、問題意識が継続されやすい構成となるよう配慮されている。</li> <li>(3) 実験・観察の器具や材料は一般的なものを使い、短時間で有効に実施できるように配慮されている。また、コンピュータやインターネットの活用を示すマークで、ICT 機器の積極的な利用を促す工夫がされている。</li> <li>(4) 観察・実験の冒頭に「観察（実験）の目的」欄を設け、観察・実験の目的を明確にして主体的に行うための工夫がなされているとともに、ペットボトルや牛乳パックなどを再利用した実験が位置付けられ、環境への配慮がなされている。</li> <li>(5) 各学年にペーパークラフトが付録として配置され、平面では把握しにくい内容の指導に役立つ工夫がされている。また、鮮明な写真や学習内容につながる適切な図表によって科学の有用性を実感させるよう配慮されている。</li> <li>(6) 「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」を掲載することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、各章の学習の前後で同じ問いに答える「before &amp; after」により、生徒が自身の成長を実感し、自己肯定感を高め、学ぶ意味を自覚できるような配慮がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の導入や実験・観察の目的を重視し、生徒が主体的な学習を通して自然に科学的な思考力や表現力が育成できるよう丁寧な配慮がされている。</li> <li>・科学的事象が遍在することや有用性を実感できる構成であり、また斬新な写真や図表を使って生徒の学習意欲を喚起する配慮がされている。</li> </ul>

採択基準 発行者名	大日本図書（新版 理科の世界）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験の目的を明示し、目的意識をもって観察・実験などを行えるように工夫されている。</li> <li>・結果を分析して解釈する項目を示し、科学的に探求する能力や態度を育み、科学的な見方や考え方が養えるよう工夫されている。</li> <li>・日常生活や社会との関連を重視し、理科を学ぶことの意義や有効性を実感できるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)既習事項を振り返る「思いだそう」「これまでに学習したこと」や、これから学習する単元の見通しをもつ「これから学習すること」が示され、つながりが分かりやすいよう紙面の構成が工夫されている。</li> <li>(2)理科学習が日常生活や社会に役立っている「くらしの中の理科」や、学習内容に関わる職業の話題「プロフェッショナル」を紹介し、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるように配慮されている。</li> <li>(3)「わたしのレポート」「終章(学んだことを活かそう)」「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」等で方法や結果などが具体的に紹介され、生徒自ら探究活動ができたり、表現活動に取り組めたりするよう工夫されている。</li> <li>(4)図や写真が数多く示されイメージしやすいとともに、黄色の背景で注意マークを入れ、事故防止に工夫されている。</li> <li>(5)色づかいとともに、送り仮名やコラムの書体にはユニバーサルデザインフォントが使用され、学習に支障が出ないように配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)単元の配列では、観察・実験のしやすい時期、1年から3年で理科室の使用が重ならないように考慮されている。</li> <li>(2)観察・実験の場面では、「予想」「結果の整理」「結果から考えてみよう」が示され、目的意識をもって取り組み、表やグラフを使って整理し、その結果を基に考察できるよう工夫されている。</li> <li>(3)観察・実験や資料などの内容が豊富で、継続的な観察や、自然体験・科学的な体験ができる「やってみよう」なども充実が図られており、事前の事物・現象に興味をもって楽しく学べるよう工夫されている。</li> <li>(4)すべての学年の巻末では、化学実験を行うための注意点を掲載し、事故防止についての配慮が示されたり、数値の扱いやグラフの活用などを掲載したりして、振り返りやすいように配慮されている。</li> <li>(5)観察・実験結果の例を写真や表とともに載せて、自分の結果を比較しながら考察できるよう工夫されている。</li> <li>(6)学習課題ごとに「問い」で基礎・基本を確認し、章末問題やまとめ、単元末問題、読解力問題を掲載し、知識・理解の定着が図られている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験や資料などの内容が豊富で、自然の事物・現象について楽しく学び、科学への夢や希望を高めるよう工夫されている。</li> <li>・観察・実験などを通じた探究活動を取り上げ、思考力・判断力・表現力を養い、課題解決の力を高めるよう工夫されている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	学校図書（中学校科学）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と日常生活、職業との関連を示し、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるように配慮されている。</li> <li>・目的意識をもって観察・実験に取り組み、科学的な思考力・表現力・判断力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>・基礎・基本の定着を徹底し、確かな学力を身につけるとともに、予習や復習にも対応できるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)各単元冒頭の「これまでに学んだことをチェックしよう」「これから学ぶこと」では、既習事項を丁寧に確認した上で、各章との関連を示しことで、学習内容の関連性や系統性が分かりやすく示されている。</li> <li>(2)日常生活や他教科との関連を示す「科学の窓」「Let's try!」「ことば」「なっとく!」などを設けることで、生徒の科学に対する興味・関心を高めるとともに、学習内容の補足説明をする配慮がされている。</li> <li>(3)「科学を仕事に活かす」で、学習内容と職業や日常生活との関連が分かり、科学を学習する意義や有用性を感じられるよう工夫されている。</li> <li>(4)本文中の観察・実験の課題は「？」マークで示され、観察・実験の目的がはっきり意識できるように配慮されている。また、「注意」などを適宜に配置し、危険防止のための配慮もなされている。</li> <li>(5)カラーユニバーサルデザインを含め、文字や図形の見やすさ、配色やレイアウトなどにも配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)各学年A「粒子・エネルギー」とB「生命・地球」とにそってまとめられており、3年生の終章では、その関連性を示すことで、学習内容の理解を深める工夫がされている。</li> <li>(2)観察・実験では「結果」と「考察」、本文の解説では「結果」と「考察とまとめ」の2観点にそれぞれ分けて示され、結果を分析して解釈する能力が身に付くよう工夫されている。</li> <li>(3)生徒の興味・関心をより高めるために「チャレンジ」として興味深い観察・実験やものづくりを紹介したり、コンピューターを利用できるところではコンピューターマークが示されたりしている。</li> <li>(4)生物の観察時には必要以上に傷つけないことや、廃液の扱いが示されていることにより、生命尊重や自然環境保護への配慮がなされている。</li> <li>(5)「活用」マークや「表現」マークを用いて、既習事項を活用したり、理由を説明させたりする工夫がある。また、観察・実験の後のページに「結果例」が示され、観察・実験がうまくいかなかった場合やできなかった場合の参考にしてできるよう配慮されている。</li> <li>(6)密度などを求める公式の習得のために「例題」や「問い」を表記したり、章の復習として「学習の確認」、単元の復習として「学習のまとめ」や「単元末問題」などが設けたりして、学力向上に向けて工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をもって課題を解決しながら、科学的な見方や考え方が養われるよう工夫されている。</li> <li>・学習内容を生かした職業が示されるなど、日常生活と関連付けて、主体的な学習ができるよう配慮されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育出版（自然の探究 中学校理科）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学への興味や関心を高められるように課題の提示や資料が掲載され、主体的な学習が展開できるように配慮されている。</li> <li>・探究の過程に沿った学習展開が示され、科学的に探究する能力と態度を育むことができるように工夫されている。</li> <li>・科学に関する情報提供や発展的な内容が豊富で、活用力が高まるように工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元の初めに、既習事項とこれから学んでいく内容が簡潔に示され、小・中学校を通じた学習の一貫性・連続性がわかるようになっている。</li> <li>(2) 「わたしのレポート」や「観察（実験）から」により、観察・実験の結果から論理的に考察したり表現したりして、科学的な思考力を養えるように工夫されている。</li> <li>(3) 身近な事象や不思議な現象が大きな写真で掲載されたり、日常的に目にするものと学習内容との関連が図られたりして、学習への意欲を高めたり、生活経験に引き寄せて考えられるように工夫されている。</li> <li>(4) 観察・実験がページをまたがずに上から下へ手順通り示され、分かりやすくなるように工夫されるとともに、安全に関わるマークを用いて注意を促したり、注意文がオレンジ色で示されたりと工夫されている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインにより、色覚の個人差を考慮してよく工夫されたり、読みやすい字体が使用されたりしている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各学年とも、「粒子」「エネルギー」「生命」「地球」の順に統一して構成されている。</li> <li>(2) 基礎的な知識や技能の習得とともに、科学的な見方や考え方が身につく構成、わかりやすい単元内容の配列となっている。</li> <li>(3) 「話し合おう」「考えよう」「調べよう」などの生徒の活動を設定することで、どの場面でこういった活動をするのかがわかり、主体的に学習を進めることができるように配慮されている。</li> <li>(4) 観察・実験の基礎技能が必要に応じてわかりやすく示されたり、結果と考察を分けて記述されたりすることで、結果を分析して解釈する思考力を培うためによく工夫されている。</li> <li>(5) 数多くの「ハローサイエンス」で科学に関する話題が多面的に掲載され、日常生活や環境などへの利用や有用性に触れるようになっている。</li> <li>(6) 単元末には「基礎・基本問題」「活用・応用問題」「学年末総合問題」が掲載され、基礎・基本の定着だけでなく、活用力や読解力もつくように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧でわかりやすい文章での記述、豊富な写真や図版で、興味・関心を高めながら基礎・基本が定着するように工夫されている。</li> <li>・発展的な内容やコラム、練習問題が多く、日常生活への活用や読み取り、表現など幅広い力がつくように構成されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">啓林館（未来へひろがるサイエンス）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全かつ興味をひく観察・実験の充実が図られ、実感を伴って科学的な概念を理解できるよう配慮されている。</li> <li>・自然の豊かさや多様性、産業や実生活と科学との関連について紹介され、学習する意義や有用性が実感できるように工夫されている。</li> <li>・本冊と別冊マイノートにより多様な学習形態に対応するとともに、読み、考え、書き、活動することで基礎・基本の定着を主体的に行い、活用力や表現力を養えるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「ふり返り」が多く配置され、既習事項を確認しながら学習を進められるよう工夫され、生徒の観察・実験では「目的」を明確に記述するとともに、追究方法を「ステップ」として記述してあり、要点をつかみやすい配慮がなされている。</li> <li>(2) 本文の構成は「学習課題」→「考察活動」→「観察・実験」→「考察活動」→「本文による一般化」と展開が構成され、科学的思考力および活用力を伸ばすよう配慮されている。</li> <li>(3) 資料「ぶれいく Time」では、学校生活、実生活と関連する話題を取り上げ、理科の有用性を実感できるようにしたり、実社会で使われている科学技術やものづくりなどを取り上げ、キャリア教育、生涯教育へと結びつけていくようにしたりする配慮がなされている。</li> <li>(4) 8種類の安全マークに「要換気」「火気注意」など具体的な注意事項が文字で加えられ、わかりやすく安全性への配慮がなされている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインを取り入れ、全ての生徒に必要な情報が伝わるようにするとともに、添付の青色シートを利用することで色覚の個人差を問わずに反復学習ができるように配慮されている。また、1年の文字サイズを小6と中2の中間サイズとし、中1ギャップ対策にも配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全学年「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の順に系統性を踏まえて単元を配列し、発達段階に応じた学習ができるよう構成されている。</li> <li>(2) 生徒がつまづき易い算数・数学の知識を活用できるようにする配慮がなされているとともに、発展的に興味を広げられるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「考えてみよう」「予想してみよう」「話し合ってみよう」「活用してみよう」の場面が設定され、具体的・体験的な活動を通して思考が深まり提案力の基礎を培えるよう工夫されている。</li> <li>(4) 生徒の観察・実験では「結果」と「考察」を分けて表記し、結果をまとめるポイントと考察の観点を分けて示すことで、「結果をもとに考察する」という学習の流れが定着するよう配慮されている。</li> <li>(5) 写真と語句の両方で説明することで、試薬の色の変化などが全ての生徒に理解しやすいよう配慮されている。</li> <li>(6) 別冊のマイノートは、書くことで科学的な思考力や表現力を高めるとともに、観察・実験の計画や分析して解釈する力を育て、自己評価や学習履歴の確認もできるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本を大切にしたい説明がなされ、発達段階や興味・関心に応じて、主体的な学びができるよう構成されている。</li> <li>・「ふり返り」を充実させ、小学校での学習や中学校の学年間での学習のつながりを意識できるよう配慮されている。また、別冊マイノートで基礎・基本の確実な定着とともに学力の向上と科学的思考力の育成を図る配慮がされている。</li> </ul>

# 音 樂(一般)

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

発行者名 採択基準	教育出版（中学音楽 音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代や曲種等、親しみやすい教材が選択され、学習指導要領の指導事項との関連をもった学習が展開できるよう配慮されている。</li> <li>・教材ごとに学習のポイントが二つ示され、生徒の活動のめあてとしたり、教師の評価項目としたりできるよう配慮されている。</li> <li>・多様な音楽活動が掲載され、興味・関心を高めながら音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の素地や学年の発達段階に即して無理のない学習が展開されるよう、徐々に難易度が増すように楽曲が掲載されている。</li> <li>(2) 歌唱共通教材では、コラム「A Message for You」が適宜掲載され、作者の思いや意図などから興味をもって取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(3) 創作の学習のコーナー「音のスケッチ」では、リズム創作や太鼓のための音楽づくりについて具体的な手順が示され、生徒の主体的な学習活動がなされるよう配慮されている。</li> <li>(4) 我が国の伝統的な音楽を扱う学習では、鑑賞の学習に加えて、模倣して演奏したり、身近な楽器で演奏したりしながら、楽曲のよさを感じ取るよう工夫されている。</li> <li>(5) 歌唱共通教材や鑑賞教材の写真等にインパクトがあり、関連した内容を視覚的にとらえやすくなるよう折込みのページを使うなどして、分かりやすくまとめられている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 身に付けた基礎・基本の力を生かして学習が展開されるよう「基礎」「広がり」「活用」の三つの柱で構成し、表現及び鑑賞の幅広い音楽活動が展開されるよう、教材の選択・配列が工夫されている。</li> <li>(2) 「歌のアルバム」では表現活動のポイントが示され、生徒の実態に即して選択的に取り扱うことができる歌唱教材が掲載されている。</li> <li>(3) 地域や学校、生徒の実態に応じた学習が展開できるよう、表現及び鑑賞の両領域とも、選択して扱える教材が配置されている。</li> <li>(4) 生徒の興味・関心が深まるよう、指揮や発声、身近な楽器の基礎的な表現といった多様な音楽活動に触れるコーナー「Let's Try」「Let's Sing」が設けられている。</li> <li>(5) 豊富な写真資料や図版、折込ページ等が用いられ、具体的な資料として活用できるよう工夫されている。</li> <li>(6) 学習した内容をまとめたり、気付いたことや感じ取ったことを記録したりするスペースが確保され、自分なりの音楽の価値や意味について伝え合う活動につなげられるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインや特別支援教育に配慮し、色覚等の特性をふまえた配色が工夫されている。</li> <li>・写真や図表が美しく、AB変形判を用いて、生徒にとって見やすく分かりやすい紙面のデザインとなっている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育芸術社（中学生の音楽）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている〔共通事項〕との関連をもてるように、「音楽学習MAP」に「学習の窓口」として「音楽を形づくっている要素」が記号を用いて非常にわかりやすくまとめられ、生徒の興味・関心を高められるように十分配慮されている。</li> <li>・すべての教材に学習目標や具体的な学習活動が示されていたり、教材によっては学習の観点となる問いかけが示されたりしている。</li> <li>・幅広いジャンルの題材を取り上げていて、音楽を愛好する心情を育て音楽文化についての理解を深められる内容となっている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 同声合唱から混声合唱へと発展させる等、小学校の学習を踏まえた教材から徐々に難易度が増すように教材が配置され、学年の発達段階に応じた選曲に配慮されている。</li> <li>(2) 題材での学習内容を詳しく図解して知識を補ったり、学習の観点をより具体的にしたりするコラム「ここが分かれば <b>Grade Up!</b>」が設けられ、興味・関心を高めながら学習できるように、大変工夫されている。</li> <li>(3) 創作の学習では、学習の目標や学習内容が示され、グループで協働的に創作活動ができる「<b>My Melody</b>」「<b>Let's Create!</b>」のコーナーも設けられ、生徒の実態に応じて主体的に取り組める工夫がされている。</li> <li>(4) 我が国の伝統的な音楽や世界の音楽の特徴を紹介したり、地域の音楽の特徴を生かして演奏するための方法を紹介したりして、音楽文化を比較する視点が明確に示され、楽曲のよさを感じとれるよう配慮されている。</li> <li>(5) 全体的に落ち着いた色調でありながら、印象的で楽曲の情景を表すような写真や挿絵が随所に掲載され、楽曲のイメージ化ができ、学習の流れが視覚的に理解できるよう効果的に配置されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校や前学年での学習内容を繰り返し学習できるよう「<b>BINGO GAME</b>」「<b>RHYTHM GAME</b>」といったコーナーが配置され、〔共通事項〕を支えとした学習によって基礎的・基本的な内容が身に付くよう配慮されている。</li> <li>(2) 学年が進むにつれて、扱う「音楽を形づくっている要素」が増え、発展的に学習が進むよう配慮されている。</li> <li>(3) 創作では、生徒の実態に合わせて旋律やリズムをつくることのできるような例やアドバイスが示され、生徒の経験や個人差に応じた配慮がされている。</li> <li>(4) 我が国の伝統的な音楽を扱う題材では、実際に表現をしたり音楽文化にふれたりして、そのよさを味わいながら興味・関心を高められるよう配慮されている。</li> <li>(5) 学習内容が明確に分かる楽譜や図表が掲載され、視覚的に理解を深めながら学習を展開できるように工夫がされている。</li> <li>(6) 感じ取ったり聴き取ったりしたことや学習した内容を、教科書に直接書き込めるようにして、評価の観点と対比させながら学習のまとめや自己評価につなげることができるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すっきりとした紙面で、重要な学習項目が優先的に目に入ってくるように工夫がされている。また色の見分けのつきにくい生徒にとっても識別できるような配色を用いるなど、ユニバーサルデザインに十分配慮がされている。</li> <li>・A B変形判サイズの大きさと楽譜が見やすく、写真や楽曲の情報等が効果的に配置されている。</li> </ul>

# 音 樂(器樂合奏)

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

発行者名 採択基準	教育出版（中学器楽 音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの種類の楽器が取り扱われ、多様な楽器の特性や奏法にふれることができるようにしている。</li> <li>・表現及び鑑賞の幅の広い活動が設定され、楽器の特徴をとらえながら、基礎的な奏法が身に付けられるように教材が配置されている。</li> <li>・学習指導要領の指導事項との関連をもった学習が展開できるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「リコーダー」を扱う教材は、小学校での学習の積み重ねを考慮して、ソプラノリコーダーを使用しても学習が深まるように工夫されている。</li> <li>(2) 難易度が同程度の楽曲がいくつか掲載され、身に付けた技能を用いて複数の楽曲に取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>(3) 「音のスケッチ」では、掲載されている楽曲を基にして創造的な活動ができるようなコーナーが設けられており、生徒の主体性が促されるよう配慮されている。</li> <li>(4) 様々な楽器をかかわらせてアンサンブルができるような楽曲が掲載され、多様な音楽活動に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>(5) 楽器の紹介や奏法が写真や図版で丁寧に示されていたり、そのページに必要な楽器の運指などが余白に掲載されたりして、演奏に必要な情報が他ページを参照することなく理解できるように工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科書前半で演奏の仕方を習得し、教科書後半では習得した技能をアンサンブルで活用できるように教材が配列されている。</li> <li>(2) 「名曲旋律集」では、音楽の教科書で扱っている鑑賞教材や歌唱共通教材が選曲され、習得した技能の程度に応じて演奏できるように配慮されている。</li> <li>(3) アンサンブルの教材には、一般的に学校が所持している楽器を使用したり、ボディーパーカッションで演奏したりすることができる楽曲が掲載され、主体的な学習がなされるよう配慮されている。</li> <li>(4) 音楽の教科書で扱っている鑑賞曲とかかわった教材や、教材の伴奏を創作する活動が掲載されており、多様な音楽活動にかかわることができるように配慮されている。</li> <li>(5) 持ち方や奏法などについて写真を参照するようしたり、リコーダーの運指やギターのコード表が折込ページに掲載されていたりして、必要な情報がまとめられている。</li> <li>(6) 「Let's Try」のコーナーでは、必要な教材に演奏のポイントが掲載され、演奏の目標や評価の観点が明確となるように配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚等の特性をふまえた配色が工夫され、ユニバーサルデザインや特別支援教育に配慮されている。</li> <li>・A B変形判を用いて、図表や写真の配置が生徒にとって見やすく分かりやすい紙面のデザインとなっている。</li> </ul>



<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育芸術社（中学生の器楽）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習目標や具体的な学習活動が明示され、学習内容と手順が明確に分かるように配慮されている。</li> <li>・鑑賞領域や創作などの学習とかかわりをもたせた教材が適切に設定されており、幅広い学習につなげられるよう配慮されている。</li> <li>・学習指導要領の指導事項や〔共通事項〕とのかかわり「音楽学習 MAP」が示され、それぞれの教材での学習内容が把握できるように工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 掲載されている主要な楽器では、楽器の特徴をはじめ、基本的な奏法から徐々に難易度が増すように教材の配置が工夫され、生徒の発達段階に応じた学習ができるように配慮されている。</li> <li>(2) 「ここが分かれば Grade up!」など、より高度な演奏を実現するためのヒントが掲載され、生徒の演奏技能に応じて学習できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 我が国の伝統的な音楽も含め、様々なジャンルから合奏教材が適切に配置されており、多様な音楽に触れながら、生徒が主体的に楽曲選択できるように配慮されている。</li> <li>(4) 楽器毎に代表的な鑑賞曲が示されたり、創作活動を設定したりして、生徒の多様な音楽活動が実現できるように工夫されている。</li> <li>(5) 各楽器の特徴や基本的な奏法などを写真や図表で分かりやすく示し、生徒の主体的な学習活動に役立てることができるように工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「Let's Play instruments!」のセクションで楽器の特性や基本的奏法を理解できるようにしたうえで、「アンサンブルセミナー」等の発展的なセクションの学習につなげられるよう工夫されている。</li> <li>(2) 各楽器本来の音色や、特別な奏法による音色を聴き取るための楽曲を掲載し、鑑賞領域との関連的な扱いに配慮されている。</li> <li>(3) 各楽器の奏法について、<b>LESSON</b>や<b>練習</b>の見出しで解説や楽譜が段階的に掲載され、演奏の仕方や楽器の音色、雰囲気体験できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「名曲スケッチ」では、生活の中で耳にすることの多い楽曲をとりあげ、簡単な楽譜を掲載することで、実際に鑑賞したり演奏したりする活動を通して、音楽への興味・関心が高まるように工夫されている。</li> <li>(5) 演奏方法を示す写真を楽器ごとに掲載し、添えられている説明文の内容を視覚的に理解できるように工夫されている。</li> <li>(6) 教材の特性と音楽を形づくっている要素とをかかわらせた学習目標を掲載し、目指す生徒の姿が明確になるように配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すっきりとした紙面で、重要な学習項目が優先的に目に入るようにしたり、色の見分け方のつきにくい生徒にとっても識別できるような配色を用いたりするなど、ユニバーサルデザインに十分配慮されている。</li> <li>・A B変形判サイズの大きさと楽譜が見やすく、写真や楽曲の情報等が効果的に配置されている。</li> </ul>

# 美術

開隆堂

光村図書

日本文教出版

発行者名 採択基準	開隆堂（美術）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた美術文化との出会いにより豊かな感性を育てることを大切に、自ら発想構想を生かしながら表現・鑑賞ができるよう配慮されている。</li> <li>・美術の目標や学ぶ意義、美術の学習を通しての自己理解、自分と他者や社会の関わり合いを考える学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・4観点からの「ふりかえり」を題材の最後に設けて自己評価の視点を示し、学習の見返しができるように構成されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 題材のページ中に基礎的な技法や知識を示し、必要に応じた表現技法が身につくよう配慮されている。関連するページをマークで示し、制作に関連性を持ち、発展しやすいよう配慮されている。</li> <li>(2) 解説や資料、作者の言葉が充実しており、多様な表現が紹介され、生徒の発想や構想のヒントとなるよう配慮されている。</li> <li>(3) 題材名のすぐ下に、題材の目標がわかりやすい文で示されている。ページのレイアウトに優れ、生徒の美的感覚や情操を刺激する現代的な題材が取り上げられている。</li> <li>(4) 安全については、安全注意マークとともに、用具の安全な使い方を写真を用いてわかりやすく説明している。また「道具箱」で用具や材料の基本的な扱い方がイラストで示され、安全な扱いに配慮されている。</li> <li>(5) 多様なレイアウトが施され、色彩が豊かであり、生徒の美的感覚や情操を刺激するよう工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 題材によりページ数を変え、扱いに柔軟に対応できるよう配慮している。「絵画・彫刻」「デザイン・工芸など」に分類し、「ガイダンスや資料」的内容のページも入れ、日本の伝統的な美術や社会に生きる美術を、とらえやすいように題材が配列されている。</li> <li>(2) 2・3学年が一冊にまとめられ、効率よく学習が進められるよう配慮されている。表現題材では鑑賞作品をはじめと終わりに入れ、発想から制作までの表現につなげやすく、知識・理解の定着にも配慮されている。</li> <li>(3) 生徒の活動の様子が写真で多く紹介され、解説のコメントも充実しており、試行錯誤しながら生徒が楽しんで表現を追求できるように工夫されている。</li> <li>(4) 各題材に黄緑色の背景の枠を設けて、発想のヒントや基礎的な技法・知識などを示している。巻末にも資料、解説のページが設けて、基本的な技能や知識、用具の使い方などが身につくように工夫されている。</li> <li>(5) 表現や鑑賞、発想の手がかりを、画面構成で工夫し、多様な図版や写真で示すなど、掲載方法に工夫がみられる。また、学習のねらいに応じて、題材ごとにページ数や構成を変え、題材の特性を補う写真で多面的に学べるよう配慮されている。</li> <li>(6) 各題材ページ右下に「ふりかえり」として、自己評価の観点が4観点により簡潔な文章で示されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作過程で発想・構想の場面の図版を紹介し、基礎・基本を重視して、一連の学習活動が見通しをもって理解できるように示されている。</li> <li>・鑑賞と表現の学習の関連を重視し、発展的、系統的な内容も考えた大型の題材を配列して、多様な授業実践に対応できるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	光村図書（美術）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中の美術の働きに関心をもち、美術で身につけた力を生かして、暮らしや社会を美しく豊かにしていこうとする心情が養われるよう配慮されている。</li> <li>・生徒の表情やコメントを掲載し、作者の思いや表現を紹介することで、美術を愛好する心情を育むことができるように配慮されている。</li> <li>・4観点からの「目標」と学習指導要領の「共通事項」に関する問いかけを各題材に示し、「目標」や「共通事項」を意識しながら学習できるように構成されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒が主題や自分のイメージに合わせて表現方法を選択できるように「みんなの工夫」の部分では様々な画材や技法、表現方法を取り上げている。</li> <li>(2) 表現の題材を中心に「発想・構想のヒント」が分かりやすいマークで示されており、「みんなの工夫」では生徒の具体的な制作過程が紹介されている。</li> <li>(3) 生徒の内面に訴えるような問いかけや詩的な表現が多く用いられている。また、生徒が身近に感じられるオーソドックスな題材の作品を多数掲載している。</li> <li>(4) 1年巻末「学習を支える資料」の中で、糸鋸やのこぎり、彫刻刀、木工ヤスリ等の安全な使い方を、写真と説明文でわかりやすく説明している。安全注意マークで安全のための注意事項も示している。</li> <li>(5) 生徒作品や説明的な図版は細かく整然と配置されている。芸術作品の鑑賞ページは、中央の見開き4ページなど大きく掲載され、迫力があり興味を引く。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活に生かせる美術の活動を取り上げ、制作の中でPCを使用する活動やネットでの情報収集活動、鑑賞レポート作成など ICT 機器を積極的に活用する例を取り上げている。</li> <li>(2) 『美術2・3』では、もくじで題材の推奨学年が示され、内容の系統性に応じて構成が整理されている。「表現中心の題材」と「鑑賞中心の題材」に大きく分け、それぞれのバランスや配列を工夫して相互に関連を図れるようにしている。</li> <li>(3) 生徒にとって共感しやすい歌の歌詞や作品のイメージに合わせた谷川俊太郎の詩などを随所に取り上げ、生徒の学習意識が高まるような工夫がされている。</li> <li>(4) 巻末の「学習を支える資料」によって見通しが持ちやすくなっており、技法や用具の使い方について、各題材の制作に対応できるよう工夫されている。</li> <li>(5) 各題材で生徒や作家の制作過程の図版が細かい段階で掲載され、発想の方法や技法がわかりやすく、多様な表現方法にふれることができる。見開き4ページに一つの鑑賞作品は、説明なしに自由に想像を広げて鑑賞をすることができる。</li> <li>(6) 各題材のタイトルの横に「目標」が4観点により示されている。チェックを入れる欄が設けられており、自己評価への配慮がされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩や文章を用いて、美術への興味・関心を高めながら、学習を進める上でのポイントを示し、表現・鑑賞できるように配慮されている。</li> <li>・制作過程の図版や活動中の生徒の写真が多数掲載され、生徒に寄り添った構成になるように配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	日本文教出版（美術）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本を重視して、確かな表現や鑑賞の力を育てるとともに、的確な分かりやすい文章を用いて、言語活動の充実にもつながるよう配慮されている。</li> <li>・図画工作とのつながりや、生活と美術との関わりについて触れ、生涯にわたって美術を愛好する態度が養えるよう配慮されている。</li> <li>・4観点からの「学習のねらい」を各題材の最初に設け、題材ごとのねらいを具体的に示し、目標が達成できるように工夫して構成されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒作品については、時間をかけて制作したもの、短時間で制作したもの、素朴な表現の作品などが掲載されており、多様な表現を紹介することで個人差や発達段階に応じている。</li> <li>(2) 「作者の言葉」が朱色の見出しで目立つように示されて数多く紹介されており、主題や発想・構想のヒントとなるよう配慮されている。</li> <li>(3) 表現の魅力が伝わるように題材名が工夫されており、サブタイトルで主体性を促すような配慮もされている。また、優れた生徒作品が多数掲載されており、多様に展開できる題材が取り上げられている。</li> <li>(4) 1年の「学習に役立つ資料」の中で、のこぎりや小刀、彫刻刀などの用具の安全な使い方について「注意マーク」をつけてイラストで丁寧に紹介し、安全への配慮がなされている。</li> <li>(5) ページ全体が落ち着いた配色で、掲載作品の色も美しく、図版等の構成が安定しているため、じっくり見ることができ。和紙を使用した見開き原寸大の浮世絵ページでは、深みのある色彩で引きつける。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1つのテーマで構成された見開きのページ中に平面作品と立体作品が同時に掲載されているとともに、3冊全体を通してテーマや表現について発展的に題材を配列している。</li> <li>(2) 3分冊での構成で、小学校とのつながりを生かして題材が配列され、2・3年の指導計画も構想しやすいように工夫されている。</li> <li>(3) スケッチに表すなどの造形的言語活動や優れた文章表現により、造形表現が深まるよう工夫されている。また、各題材において「ポイント」が示され、表現や鑑賞が深まるよう配慮されている。</li> <li>(4) 基本的な技法・技能が巻末にまとめられているとともに、各題材に「作者の言葉」が掲載され、表現意図を知り、表現を深める上で参考になるよう配慮されている。</li> <li>(5) 自然物の色彩の美しさを感じさせたり、生活の中にあるものと美術の結びつきを感じさせたりする図版が多く掲載されている。生徒が生き生きと活動している様子の写真が多く、鑑賞や表現の喜びを感じさせる。</li> <li>(6) 各題材に具体的で適切な「学びのねらい」が示されており、決まったマークを用いることで4観点が視覚的に分かりやすくなるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・判型の大きい3分冊で構成し、多くの魅力的な図版が大きく掲載され、多様な作品に触れながら学習できるように工夫されている。</li> <li>・作家作品に加え、優れた生徒作品が多く掲載され、生徒の学習意欲をかきたてるよう配慮されている。</li> </ul>

# 保 健 体 育

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

大 修 館 書 店

学研教育みらい

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1時間の授業の学習の流れに配慮された構成になっており、基礎的・基本的な知識の習得やそれを活用する力を身につけることができるように工夫されている。</li> <li>・ 今日的な身近な話題や写真の提示により、実生活において適切に実践していくための思考力・判断力の育成につながる構成となっている。</li> <li>・ 習得した知識を活用する学習活動を促す構成となっており、健康の保持増進のための実践力が育成できるように工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健分野と体育分野を学年別の編集にし、学習の流れが見える紙面構成にすることで、無理なく知識の習得ができるように配慮されている。</li> <li>(2) 単元冒頭の「やってみよう」という活動で、生徒が学習内容に興味関心を持ち、主体的に課題の解決に向けた学習ができるように工夫されている。</li> <li>(3) 「考えてみよう」で、話し合う活動を取り入れ、実感を伴った理解が図られるように配慮され、さらに、章末の確認問題で自分の学びの振り返りと知識の定着ができるように工夫されている。</li> <li>(4) 大事な語句を「キーワード」として示してチェック欄を設け、巻末にそれらの解説を入れ、確かな理解が図られるようにたいへん工夫されている。</li> <li>(5) 見出しにカットを入れたり、キャラクターや生徒に親しみのあるイラストを使ったりし、興味・関心をひくように工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 章扉に、小学校で学習した内容とこれから中学校で学習すること、高校で学習する内容が示され、系統化が図られている。</li> <li>(2) 「リンクマーク」「他教科マーク」という表記があり、学習内容と他教科との関連を付け、横断的かつ系統的な学習にも対応できるように配慮されている。</li> <li>(3) 「ブレインストーミング」「ロールプレイング」「調査」「実習」など様々な学習形態が取り上げられており、多様な活動の充実への配慮がされている。</li> <li>(4) 「防災」「犯罪被害」「心の健康」「情報教育」などの今日的課題が具体例やわかりやすいイラストで位置付けられている。</li> <li>(5) 生徒が興味・関心を引いたり、理解を深めたりできるように、本文中だけでなく口絵や巻末資料でも写真やイラストなどが適切に配置されている。</li> <li>(6) 各章末で、確認の問題があり、知識が身についたかどうか確認できる場があり、理解度を自己評価ができるように配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワイド判で学習の流れが見える紙面構成がされていることと、学年別に編集されていることで、知識の習得ができるように工夫されている。</li> <li>・ 学習を活用するために「考えてみよう」を設置して、生徒の興味・関心に応じて学習が進むように工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	大日本図書（新版 中学校保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表、イラスト等の配置の工夫により学習に対する興味・関心が高まり、運動や健康・安全についての理解が深められるように配慮されている。</li> <li>・ 身近な生活の振り返りから始まり、主体的に学習が進められる構成がされており、自ら学ぶ力と実践力の育成につながるように工夫されている。</li> <li>・ 課題解決を促し、日常生活に生かせる発展的な内容でまとめることで、健康の保持増進のための思考力・判断力の育成につながるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き 2 ページの中で学習内容がまとめられ、グラフや図などの情報を精選し、視覚的に捉えやすいように配置したことで、学習内容がわかりやすいように構成されている。</li> <li>(2) 各単元冒頭に「今日の学習課題」が課題文形式で簡潔に提示されており、生徒が主体的に学習に取り組んでいけるように配慮されている。</li> <li>(3) 「学習を活かして」が設けられ、本時の学習内容を活用しながら学習のまとめができるように配慮されている。</li> <li>(4) 見出しや文章表現を平易にし、図に補足説明を添えることで、学習内容が生徒に理解しやすくなるように工夫されている。</li> <li>(5) イラストを単純化し、色使いをソフトにすることで、保健学習に対する抵抗感を少なくするように工夫されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各章の始めに、「この章で学習すること」や学習の流れが視覚的に示され、見通しをもち学習できるように工夫されている。</li> <li>(2) 関連した内容を学習するページを示す「リンク」が位置付けられ、相互に関係付けながら学習できるように配慮されている。</li> <li>(3) 「今日の学習課題」「考えよう」「学習を活かして」により、自ら学習を意識し展開できるようになっている。</li> <li>(4) 「自然災害による傷害の防止」「感染症・性感染症の予防」など、現代的な健康課題に対処できるように工夫されている。</li> <li>(5) 口絵・写真・イラストなどを適所に使い、興味・関心をもって取り組み、理解を深められるように工夫されている。</li> <li>(6) 単元の最後に「キーワード」として、本文中の重要語句を示すことや章末に＜重要な言葉＞＜学習の要点＞として、知識の定着が図られるようになっている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワイド判で豊富な資料やダイナミックな写真が掲示され、生徒が学習への興味関心をもつことができるように工夫されている。</li> <li>・ 文章が少なく図がシンプルに構成されており、視覚的配慮がなされていることで、基礎的・基本的な理解がすすめられるよう工夫されている。</li> </ul>



<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">大修館書店（保健体育）</div>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表や写真、吹き出しなどの工夫により、学習に対する興味・関心が高まり、運動や健康・安全についての理解が深められるように配慮されている。</li> <li>・ 身近な疑問から始まり生徒の思考を促し、発展させる構成となっており、実践に活用できる知識や思考力の育成ができるように工夫されている。</li> <li>・ 体育分野において、実際の中学生の生活に活用できる構成となっており、運動の合理的な実践力や体力の向上につながるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<p>(1) 見開き 2 ページの中で学習内容がまとめられ、カラーユニバーサルデザインに基づいたグラフの表現や色使いで、誰にも見やすいように十分配慮がされている。</p> <p>(2) 各項目冒頭に「Question」の形で導入発問を示すことで、学習内容に疑問を持ち、解決に向けて探求する学習ができるように工夫されている。</p> <p>(3) 項末の「Try」で学んだことの活用方法を考えさせることで、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くように工夫されている。</p> <p>(4) 見出しや文章表現を平易にすることや、データ・図表を精選し重要なポイントを吹き出しにして示すことで、生徒にとって理解しやすいように配慮されている。</p> <p>(5) イラストや記述が、男女平等という観点から適切に配慮されている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 各章の始めに、学習する内容について、吹き出しを使って概要がつかめるように工夫されている。</p> <p>(2) 「コンピューター活用」ができる URL が記載してあり、発展的な学習ができるように工夫されている。</p> <p>(3) 「ディスカッション」「ブレインストーミング」など様々な学習活動が設けられ、思考力・判断力・表現力が身につく工夫がされている。</p> <p>(4) 「環境問題」「犯罪被害の防止」「薬物乱用」など、生徒を取り巻く現代的な課題が重視されている。</p> <p>(5) 色を使い本文と図、写真を区分し、必要な情報が見やすいように工夫されている。また、本文とイラストとの関連性があり、本文の分からないところをイラストで補うように工夫されている。</p> <p>(6) 各単元の最後には「学習のまとめ」のページを設け、復習や生活への応用や実践、学習の発展ができるように工夫されている</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文に薄黄の地色を敷いて注や図表と区別し、メリハリのある見やすい紙面になるようとても工夫がされている。また、男女平等の観点においても配慮が見られる。</li> <li>・ 現代的な課題について学習が深められるよう軽重をつけている。特に体育分野の体力向上にかかわる学習内容が充実している。</li> </ul>

発行者名 採択基準	学研教育みらい（新・中学保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育分野と保健分野の関連を図ることにより、心の健康と体の健康を一体とした考え方ができるように配慮されている。</li> <li>・ 学習の目標、基礎的・基本的な知識の習得、知識の活用が同じ形式で整理されており、運動や健康・安全についての科学的な理解を深めることができるように十分な配慮がされている。</li> <li>・ 学習内容全体を通して、中学生の日常生活に関連づけて構成されており、健康の保持増進のための資質や能力が育成できるように、たいへん工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 <input type="checkbox"/> 内容の程度 <input type="checkbox"/> 学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 適度な量の文章と資料を配置し、学習内容を項目ごとに整理して端的に示すことで、知識の積み上げが出来るようにたいへん工夫されている。</li> <li>(2) 「ウォームアップ」の自分に返して考える問いで生徒に学習内容に興味関心を持たせ、さらに本文見出しに合わせて学習問題を明確に設定していることで、生徒が主体的に学習に取り組んでいかれるように十分配慮されている。</li> <li>(3) 学習した知識を活用して取り組む「活用しよう」、自分の学びの振り返りと知識の定着を図る「章のまとめ」など、学習のまとめがたいへん工夫されている。</li> <li>(4) 難しい用語には解説を入れることで、分かりやすいように工夫されている。</li> <li>(5) イラストや図表を項目毎の内容に合わせて配置することで、内容が捉えやすいように工夫されている。</li> </ul>
3 学習指導への配慮 <input type="checkbox"/> 単元・題材の配列 <input type="checkbox"/> 内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 章扉に、小学校で学習した内容と中学校、高校で学習する内容が明記されるとともに、各学習ページの最初に「学習の目標」が明記され、学習の見通しをもつことができるように配慮されている。</li> <li>(2) 関連ページ「探究」という表記があり、各内容と関連づけながら深く学べるように工夫されている。</li> <li>(3) 話し合いや記述、発表などの言語活動や、実習などの体験的な学習を取り上げ、課題解決的な学習が多くできるようになっている。</li> <li>(4) 現代的な健康課題、生徒の不安を解消するために必要な内容を、側注や脚注、コラムなどを用いて、分かりやすくとりあげている。</li> <li>(5) 図表、写真、イラストを適切に使用したり、資料やコラム、中学生の事例を取り上げたりしながら身近な事例を取り上げる配慮がある。</li> <li>(6) 各章末で、まとめの確認問題があり、習得した知識を確認したり、活用したりできるよう配慮されている。</li> </ul>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の流れに沿った資料がたいへん見やすく掲載されており、科学的な理解が十分に深まるよう工夫されている。</li> <li>・ 学習目標から学習問題、エクササイズ、活用と生徒が自らめりはりを持ちながら学習を進められるようたいへん適切に工夫されている。</li> </ul>

# 技術・家庭(技術分野)

東 京 書 籍

教 育 図 書

開 隆 堂

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology）
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各編とも「知る」「作る」「つながる」と統一された構成で、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</li> <li>・社会と技術の関わりについて、身近な問題を通して理解を深め、実践的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>・各編とも「技術の評価・活用」の章を設け、技術と生活との関わりを通して、適切に評価・活用できるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性  本文、見出し、 設問、提示文等 の表現、さし絵、 写真、図表、配 色、コントラス ト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の発達段階や生活実態に配慮して、学習のまとめりごとに「目標」「始めの活動」「まとめの活動」を設け、基礎的・基本的な知識・技術が確実に習得できるように題材が配列されている。</li> <li>(2) ガイダンスや各編の中で、生活と技術の関わりを多く取り上げ、「考えてみよう」「調べてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるように題材の構成が配慮されている。</li> <li>(3) 生徒が興味関心をもって追究できるよう、「技術のとびら」「ひとくちQ &amp; A」などで、身近な素材や現象を取り上げ、生活を実感的にとらえることができるように配慮されている。</li> <li>(4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを冒頭や「安全マーク」で、衛生面については「衛生マーク」で記し、安全面と衛生面への配慮が適切になされている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明であり、実習例などを「ポイント」とともにA B版の見開き2ページで大きく表示し、左から右へ製作の流れが詳しくわかるように配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な 知識・技能の習得」 と「思考力・判断力 ・表現力等の育成」 のバランス、関連性 ・連続性、個に応じ た指導、まとめと評 価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科内、他教科、小学校での学習との関連性がわかるようにマークが付され、他と関連づけて幅広く学習できるように配慮されている。</li> <li>(2) 技術と環境を結びつけて考えられるように「環境マーク」を付し、持続可能な社会の構築を目指して、環境と資源、暮らしの調和の視点から技術を考えられるように配慮されている。</li> <li>(3) 各内容に応じて多様な実習例を取り上げるとともに、「基礎技能」として基礎的な技能・知識を記載し、製作の際につまづきが予想される箇所を「ポイント」で解説したり、修正方法を提示したりするなどして、円滑に実習できるように工夫されている。</li> <li>(4) 「技術の天びんマーク」や「まとめよう」などを盛り込み、普段の授業から評価・活用の活動ができるよう、また、各編の最終章に評価・活用する方法を考えるための資料や活動を入れ、技術を評価し活用できる能力と態度が身につくように工夫されている。</li> <li>(5) 各項目で「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」を設け、さらに、「Dマーク」で示したデジタルコンテンツを用意し、身近な生活の課題をとらえて学習が進められるように配慮されている。</li> <li>(6) 各編末にある「学習のまとめ」で自己評価や学習したことを確認できるようにし、「生活に生かそう」で自分自身の生活に生かせるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術を学ぶよさを感じながら生徒が主体的に問題解決できるように工夫されている。</li> <li>・魅力的な題材を多く取り入れ、製作・実習の際のつまづきを写真や図で示すなど、円滑に学習できるように工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">教育図書（新技術・家庭 技術分野）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章とも多くの製作題材を通して生徒の意欲を引き出し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</li> <li>・実験や実習など実践的・体験的な学習を通して、社会と技術について理解できるように配慮されている。</li> <li>・各章の中で環境に対する負荷に視点を当て、技術を適切に評価し活用できるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中学生の視点を大切に魅力ある製作題材を多く取り入れ、関心・意欲をもって学習ができるように題材が配列されている。</li> <li>(2) ガイダンスや各章の中で、生活と技術の関わりを多く取り上げ、「考えよう」「調べよう」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるように題材の構成が配慮されている。</li> <li>(3) 生徒が興味関心をもって追究できるよう、身近な製品を取り上げ生徒が想像しやすい工夫をし、生活を実感的にとらえることができるように配慮されている。</li> <li>(4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、「注意マーク」や「安全マーク」で記し、安全面の配慮が適切になされている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で分かりやすく、写真や図版を多く用いて製作工程を分かりやすく示し、教科書を見ながら実際につくることができるように配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 分野全体にわたり、関連性がわかるように、関係する内容のページを示し、学習を深める活用ができるように配慮されている。</li> <li>(2) リサイクル、エネルギーの問題や節約、バイオマス、植物工場などを取り上げ、持続可能な社会のための教育に関する配慮がされている。</li> <li>(3) 実習例は、各手順を丁寧に記載し、題材とあわせて「基礎技能」または「基礎技能・知識」として基礎的な技能・知識について見開きページで記載することで体験的な学習ができるように工夫されている。</li> <li>(4) 「考えよう」「調べよう」などの項目が示されているとともに、章末でこれからの技術の課題を考えさせることを通して、技術を評価し活用できる能力と態度が身につくように工夫されている。</li> <li>(5) 各節のはじめに学習目標を立てる概説と、そのイメージがわくような写真を取り上げ、身近な生活の課題をとらえてから学習が進められるように配慮されている。</li> <li>(6) 各領域の終わりに「まとめ」と「章末問題」を設けることで、学習した内容をまとめることができ、自学・自習ができるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作することの喜びや技術を学ぶことのよさを感じられるように工夫されている。</li> <li>・魅力的な題材を数多く掲載し、手順を分かりやすく示すことで、生徒が興味・関心を持って追究できるように工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	開隆堂（技術・家庭 技術分野）
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容とも学習の流れが分かりやすく、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</li> <li>・社会と技術の関わりについて、身近な問題から生活を見直し、理解できるように配慮されている。</li> <li>・各内容とも「技術の評価・活用」の章を設け、技術を適切に評価・活用できるように配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性  本文、見出し、 設問、提示文等 の表現、さし絵、 写真、図表、配 色、コントラス ト等	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の発達段階や生活実態に配慮して、基礎・基本と参考・発展等の区分を明確に記述し、学習内容の精選と重点化が図れるように題材が配列されている。</li> <li>(2) ガイダンスや各内容の中で、生活と技術の関わりを多く取り上げ、「考えてみよう」「調べてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるように題材の構成が配慮されている。</li> <li>(3) 生徒が興味関心をもって追究できるよう、「参考」「探究」「豆知識」などで、身近な素材や現象を取り上げ、生活を実感的にとらえることができるように配慮されている。</li> <li>(4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンスや「安全マーク」で記し、安全面の配慮が適切になされている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、分かりやすい図版・イラスト・写真を生徒目線からのものも含め多数掲載し、生徒の意欲が高まるように配慮されている。</li> </ul>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な 知識・技能の習得」 と「思考力・判断力 ・表現力等の育成」 のバランス、関連性 ・連続性、個に応じ た指導、まとめと評 価	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校とのつながりを示したり、他の内容との関連がわかるようにマークを付したりして、関連づけた学習ができるように配慮されている。</li> <li>(2) 環境に関する記述部分には「環境マーク」を付して、環境への意識を高められるようにし、循環型社会に対応していく態度が身に付くように配慮されている。</li> <li>(3) 実習例は、基本となるものを中心にし、参考・応用的なものまで多様な例を取り上げ、生徒の実態や学校の環境に合わせた学習ができるように工夫されている。</li> <li>(4) 各内容の終末で技術の具体的な評価・活用の方法を示し、また、3年間の学習の最後に、学習したことをどのように生活に活用するか振り返る項目を設定することで、技術を評価し活用できる能力や態度が身につくよう工夫されている。</li> <li>(5) 各小項目では、導入課題「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などを設け、身近な場面から学習の導入や動機付けができるように配慮されている。</li> <li>(6) 項目のまとめりごとに「ふり返り」、各内容の終わりに「学習のまとめ」を設け、学習のまとめや反省、自己評価ができるようにし、「生活に生かそう」で学んだことを生活の場で活用できるように工夫されている。</li> </ul>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作の喜びや技術を学ぶことのよさを実感できるように工夫されている。</li> <li>・基礎・基本から参考・発展へと多様な製作・実習題材が示され、生徒の実態に合わせた学習ができるように工夫されている。</li> </ul>

# 技術・家庭(家庭分野)

東 京 書 籍

教 育 図 書

開 隆 堂

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や地域の関わりについて、身近な問題を通して理解を深め、実践的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>・社会の変化に対応し、幅広い情報や興味深い題材例を多くして、実践的な態度が育てられるよう配慮されている。</li> <li>・教科目標を的確にとらえ、問題解決的なプロセスを重視し、基礎的・基本的な知識・技術を習得して実践につなげる視点が導かれている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性  （本文、見出し、 設問、提示文等 の表現、さし絵、 写真、図表、配 色、コントラス ト等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎技能を習得した後、「よりよい〇〇生活を目指して」を位置づけ、自分の生活と重ねて考えられるよう生徒の発達段階や生活実態に配慮した題材配列になっている。</li> <li>(2) 身近な生活の問題を提示し、「考えてみよう」「調べてみよう」「まとめよう」の項目を設定し、生徒の意識を大切に、生活を工夫・創造・改善するような題材構成の工夫がなされている。</li> <li>(3) 「やってみよう」「調べてみよう」や実習例などを多く提示し、実践的・体験的な学習活動を通して具体的に学習できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 「実習の安全」を冒頭で記述し、各内容では必要に応じて「安全マーク」や「衛生マーク」を付し、注意が喚起されるよう工夫されている。</li> <li>(5) 視覚的支援となる写真や図が鮮明で、原寸大の写真、資料、図表、イラストが豊富に配置され、各項の冒頭に「この編で学ぶこと」を文章と写真で表記し、生徒の関心意欲を高めるように大変よく配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な 知識・技能の習得」 と「思考力・判断力 ・表現力等の育成」 のバランス、関連性 ・連続性、個に応じ た指導、まとめと評 価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 冒頭に「家庭分野のガイダンス」の項立てがあり、3年間でどのような学習を進めていくのか見通しがもてるように配慮されている。また、「対応マーク」を用い、小学校家庭科や他教科の内容との関連が大変よく示されている。</li> <li>(2) 学習したことや製作したものを生活の中で活用させる「まとめの活動」などが設けられ、創意工夫できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「基礎技能のページ」や「練習題材」の実践的・体験的な活動を取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くような内容で構成されている。</li> <li>(4) 「私たちにできることを考えてみよう」「生活に生かそう」を設け、家庭実践の必要性がもてるよう配慮がされている。</li> <li>(5) 写真や資料の配置に工夫がされ、実物大の写真を適切に盛り込み、実習の手順や学習の流れがわかりやすいよう配慮されている。</li> <li>(6) 「目標」を提示し、「まとめよう」「学習のまとめ」で、自己評価の観点が明確になるよう工夫され、適切に配置されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がどのように学ぶかの視点に立って、写真や資料がより充実し、基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう配慮されている。</li> <li>・サイズをA B版にしたことで、環境や防災などの視点をふまえ、生活と密着できるような情報を豊富に記載し、また職業観の視点から、興味・関心を高めるよう大変よく工夫されている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	教育図書（新技術・家庭 家庭分野）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科目標・内容に即して題材を配列し、自己の振り返り、社会とのつながり、他者とのかかわりへの配慮がされている。</li> <li>・家庭や生活にかかわる実践的・体験的な事例から、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために、実感をともなった学習活動ができるよう配慮されている。</li> <li>・「生活の課題と実践」の項で、課題をもって生活をよりよくしようとする問題解決的な学習への配慮がされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 短時間でできる実習を多く紹介し、生徒の発達段階や生活実態等に配慮できるよう題材が配置されている。</li> <li>(2) 身近な生活の問題を取り上げ、考える視点や話し合いの視点等を示し、生活を工夫し創造する力をつけるための題材構成になっている。</li> <li>(3) 生徒の実態に応じて選択できる実習例や事例を幅広く取り上げ、興味・関心をもって追究し、生活を実感的にとらえられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 安全面や衛生面での配慮が必要な場面では、「安全」マークを付し、注意点をイラストや写真を用い、要点的にまとめられている。</li> <li>(5) 各内容に関連した豊富な図版、イラスト、原寸大の写真等を掲載し、生徒がわかりやすく意欲的に学習ができるよう適切に配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 3年間の見通しがもてるガイダンスの内容がワークシートとして配置されている。また、環境・復習・リンク等のマークを用いて、持続可能な社会への視点や小学校の学習の振り返り、技術分野との関連が図られている。</li> <li>(2) 各章の始めに「自立度チェック」や「考えよう」「やってみよう」等の掲載により、生徒が自分の生活を振り返り、主体的に判断し行動できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 実践的・体験的な活動とともに「キーワードチェック」「学習の振り返り」で、基礎的・基本的な知識や技能が確実に身に付くよう構成されている。</li> <li>(4) 基礎的・基本的な技能が身に付くための実習を設け、よりよい生活を営む能力や実践的な態度を育む内容で構成されている。</li> <li>(5) 原寸大の写真や豊富なイラスト、失敗例等が盛り込まれ、生徒が興味・関心をもち、主体的に学習できるよう適切に配置されている。</li> <li>(6) 各章の終わりに「学習の振り返り」を位置づけ、自己評価の観点を明確にして学習の定着が図られるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルキャラクターを用い、生活を見つめ直し、学習が広がるようなヒントを与える工夫がされている。</li> <li>・内容ごとに学習問題が設定されていて、付ける力がはっきりしているシンプルな構成になっている。また、問いかけやクイズなども多く、生徒が興味をもって学習できるよう工夫されている。</li> </ul>

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">開隆堂（技術・家庭 家庭分野）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活的自立を理解し、自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術が確実に習得できるよう配慮されている。</li> <li>・ 人やものとのかわりを大事に、課題・目標の設定、基礎学習、発展・実践へと題材展開の流れがわかりやすく工夫されている。</li> <li>・ 教科目標に即して内容を配列し、自らが課題をもち、実践的・体験的活動を通して、家庭・社会生活につなげていくよう構成されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習のスタートに共通の「導入課題」を設け、生徒の発達段階や生活実態等に配慮した題材が配列されている。</li> <li>(2) 日常の家庭生活の問題から「学習の目標→導入課題→基礎学習→学習の展開→発展・探求・参考→ふり返り・まとめ」の一連の流れとなっており生活を工夫し創造する題材構成になるよう工夫されている。</li> <li>(3) 生徒の実態に応じて選択できる実習や製作の事例を多く取り上げ、興味・関心をもって追求し、生活を実感的にとらえるよう配慮されている。</li> <li>(4) 作業や実習中の場面で安全や衛生面で「安全マーク」「衛生マーク」、防災の視点から「防災マーク」を付し、チェック欄を用い、注意が喚起されるよう大変よく工夫されている。</li> <li>(5) 内容の理解を助け、わかりやすい図版、イラスト、写真、折り込み頁等が豊富で、生徒が意欲的に学習できるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「A家族・家庭と子どもの成長」に家庭分野のガイダンスの内容を配置し、持続可能な社会をテーマに環境・防災等、各内容や技術分野・他教科等と「リンクマーク」で関連が図られている。</li> <li>(2) 「話し合ってみよう」「ふり返ってみよう」「考えてみよう」等導入課題を設け、生徒が自分の生活をふり返り主体的に判断し行動できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「学習の目標」「導入課題」「実践的・体験的な学習活動」「学習のまとめ」を設け、基礎的、基本的な知識や技術が確実に身につくよう工夫されている。</li> <li>(4) 問題解決学習とともに「ふり返り」を設け、よりよい生活を営む能力や実践的な態度が育つ内容で構成されている。</li> <li>(5) 生活に密着した資料や実習などの図式が適切に盛り込まれ、作業の流れや手順、進め方がわかりやすいよう配慮されている。</li> <li>(6) 「ふり返り」「学習のまとめ」で自己評価の観点を明確にして学習の定着をはかれるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の目標と学習内容が関連付けられて、「ふり返り」「学習のまとめ」などでポイントが明確になるよう工夫されている。</li> <li>・ 「自立」と「共生」「持続可能な社会」をテーマに編集され、学習内容を色あいで統一し、見やすく、調べやすいよう配慮されている。</li> </ul>

# 英 語

東 京 書 籍

開 隆 堂

学 校 図 書

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">東京書籍 (NEW HORIZON English Course)</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化理解に加え、自国の伝統・文化や人権、共生、防災など今日的な課題について考えさせる題材を広く取り上げている。</li> <li>・全体を3部構成とし、「習得」(各「Unit」)→「活用」(場面別活動)→「発信」(テーマに沿った発表)の順で扱うとともに、各「Unit」はコミュニケーション活動を目標にして、発信の力を育成できるように構成されている。</li> <li>・各「Unit」におけるそれぞれのパートは、「本文・基本文から導入」→「練習問題で定着」→「書く課題で確認」という構成となっており、発信のための基礎となる文法と語彙を、4技能の練習活動を通して着実に習得できるよう工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各「Unit」で導入される語彙や文法項目、本文の分量は、生徒の学習段階に応じたものになっており、既習表現が何度も使用されるなど、定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>(2) 各「Unit」、「Daily Scene」、「Presentation」での練習活動は、4技能に関わって基本から応用へと段階的に配列されている。</li> <li>(3) 異文化理解、自国の伝統・文化、キャリア教育、環境、防災・安全、人権・平和などの今日的課題や、生徒の興味・関心を喚起する題材が扱われている。</li> <li>(4) 各「Unit」で学んだことを「Daily Scene」の現実に近い場面設定で活用し、「Presentation」で自分の言葉として発信するという学習活動の中で、4技能の育成をバランスよく行えるように構成されている。</li> <li>(5) 横長 AB 判で、各パートが見開き左側に本文、右側に練習問題が配置されており、登場人物と題材に関連する挿絵や写真、図表が適度に配置され、生徒の理解を促すよう配慮されている。ほどよい余白も見やすさを助けている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価           </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各「Unit」では、冒頭でその「Unit」で達成すべき目標を明示しており、終末でその目標に対応した活動で、学習成果を確認できるように構成されている。「Starting Out」と「Dialog」で文法と「聞く」「話す」を中心に、「Read and Think」では「読む」「書く」を中心とした練習活動が設定されている。終末の「Activity」では技能統合型の活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(2) 多様な題材を扱って生徒の知的好奇心を喚起するとともに、同じ国やテーマを別の側面からスパイラルに扱うことによって、生徒の興味・関心や見方を深められるよう配慮されている。</li> <li>(3) 既習表現に習熟するための練習問題で「Tool Box」で多様な語彙や別の言い方を紹介したり、読み物教材で読む力を伸ばすための補充リーディング教材を入れたりするなど、習熟度に応じて学習レベルを変えられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 各学年で3回、4技能の総合的な練習活動として「Presentation」が配置されており、それまでの学習事項を使って発信する力を育成できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 各「Unit」の冒頭にある「Starting Out」のページで学習タイトルの内容を絵や写真で表し、その他のページでも本文や練習活動に関連した絵や写真が適切に配置され、生徒の理解を助けるよう配慮されている。</li> <li>(6) 「Presentation」では、それまでの学習を活用して発信につなげることができたかを、終末で自己評価できるように構成されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つなぐ」を全体テーマとして編集されており、『①「習得」したものを「活用」し、「発信」につなげる学習。②人と人、文化と文化、国と国をつなぐ題材選択。③小・中・高の学習をつなぐ学習サポート。』という3つの基本方針を基にしている。</li> <li>・「Unit 0」として入門期の学習内容を特設し、小学校での外国語活動で慣れ親しんできた英語と、学ぶ楽しさを引き継いで学習を進められるよう工夫されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	開隆堂 (SUNSHINE ENGLISH COURSE)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と諸外国について幅広く学習できるように題材が選定されており、学年が進むにつれて日本人の自覚や誇りを感じられるような配列になっている。</li> <li>・コミュニケーション能力の育成には、協働学習（ペアやグループでの作業や活動）が重要と考え、「教え合い、学び合い」の活動を取り入れている。</li> <li>・見開き2ページの中で4技能「聞く」「話す」「読む」「書く」の総合的な育成が図れるよう配列が工夫されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「Try」の場面では、文法などの練習活動に留まることなく、聞いて繰り返した内容について「自分の言葉で意味のあることをいう活動」が設けられているので、生徒の発達段階に適している。</li> <li>(2) 各ページの新出語句は、フォントを変え、題材を読む上で必要な語句と重要語句に分けて提示されていたり、自学自習用のチェックボックスが付けられたりして工夫された提示になっている。各課の「Basic Dialog」で提示された文型や文法事項を、その後の「Listen」「Speak」「Try」で練習し、本文でさらに理解を深めることができるよう構成されている。</li> <li>(3) 見開き2ページが、言語習得の基本である「聞く→話す→読む→書く」の順番で構成され、ページの冒頭に目標が書かれている。この配慮により、全体を通して見通しを持って主体的に自ら学ぶ生徒の育成への配慮（例えば、音読マークなど家庭学習の意欲つけの工夫）や発達障害を持つ生徒への学ぶ過程（順序）がわかる配慮等が、よくなされている。また、人権、教育、環境問題、平和についての題材が選定され、日本と諸外国の協力的な関係に重点が置かれている。</li> <li>(4) 「My Project」では、4領域を統合した言語活動の場面が3年間で8回設けられており、そこでは必然的に既習事項を見直す機会が与えられ、繰り返しの学習によって生徒が問題を解決しながら学習できるよう構成されている。</li> <li>(5) 1年次の教科書の基本的な学習項目を示した見開き左ページ、「My Project」は、手書き文字の書体を使用され、文字を分けることで文字認識が弱い生徒への配慮や基礎・基本の定着への配慮がされている。AB版の特徴を生かし、「Write」では、直接教科書に書き込めるよう配慮され、写真等の大きさも適当であり詰め込み感がなく、見やすい。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文構造や文法項目は、具体から抽象へ学びができるよう配列されている。また、高校入試を見据えた読み物教材が Extensive Reading として巻末に総語彙数と共に掲載されている。</li> <li>(2) 「英語のしくみ」では、学習事項の文法項目の理解度や定着度を確認できるよう配慮されている。「発音クリニック」では、発音と綴り字の関係に配慮して指導できる工夫がされている。</li> <li>(3) 基本的な言語材料（誰もが理解して欲しい）を左ページの「Basic Dialog」の形で提示し、右ページの本文が Advanced Students 向けに構成されている</li> <li>(4) 学習の導入場面で、各課の言語材料が使用場面や働きが適切かつ明確な形で示されている。また、その示され方もモノログではなく、ダイアログで提示されているので、コミュニケーション能力の育成に大変よく配慮されている。</li> <li>(5) 1年次教科書巻末には、アクションカードが付いており、34の動詞を様々な文型で繰り返し使用できるよう工夫されている。</li> <li>(6) 3年間で学ぶ到達目標を事前に生徒に示すことのできる学年別の「できるようになったことリスト」は、よく整理されており、生徒自身が評価でき、指導者と評価が共有できるようになっている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PPP(Presentation/Practice/Production)に沿った紙面構成をしている。</li> <li>・アルファベットを正課として位置づけ、直接書き込んで練習できるペンマンシップ機能を取り入れている。また、小学校外国語活動で音声として触れてきた単語とそうでない単語を色分けし、わかりやすくする配慮がなされている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	学校図書 (TOTAL ENGLISH)
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際語としての英語という観点から、言語や文化、社会に対する理解や共感を深めることができるよう、英語文化圏だけでなく幅広く他の地域からも題材が選定されている。</li> <li>・目標文の配列は「易から難へ」を原則としており、生徒にとって身近でわかりやすい場面設定が配慮され、ペアやグループ、クラス全体で英語を話したり聞いたりする活動が設定されている。</li> <li>・各パートに、繰り返し「聞く」「話す」「読む」「書く」ためのコーナーが設けられるなど、4技能の基礎を養うことができるよう構成されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性  本文、見出し、 設問、提示文等 の表現、さし絵、 写真、図表、配 色、コントラス ト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 既習の Section での言語材料を、それ以降の Section やコーナーに盛り込むなど、生徒の発達段階を考慮して題材が選定されるとともに、繰り返し学習によって言語材料の定着が図られるよう編集されている。</li> <li>(2) 言語材料について理解や練習を行う活動 (Review、Action、Activity など) とコミュニケーションを図る活動 (Talking Time、Chapter Project、Book Project など) がバランスよく配置されている。</li> <li>(3) 1年では日常生活の描写といった身近な場面から題材が選定され、学年が上がるにつれ、伝統文化、風俗習慣、環境、人権などへ展開し、生徒の学習意欲を喚起するよう編集されている。</li> <li>(4) 入門期では「聞く」「話す」活動に重点が置かれ、段階的に「読む」「書く」活動が増えるよう構成され、4技能の総合的な育成ができるよう編集されている。</li> <li>(5) 挿絵を大きく扱ったり、写真を効果的に用いたりするなど、内容や場面に応じて、生徒の興味や関心を高めるような工夫がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な 知識・技能の習得」 と「思考力・判断力 ・表現力等の育成」 のバランス、関連性 ・連続性、個に応じ た指導、まとめと評 価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標文や重要表現、語彙などを使って自己表現する「Chapter Project」では「Lesson」、「Action!」など4つのコーナーで習得した知識・技能を活用して、それぞれのテーマについて表現できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるための活動として「Activities」「Review」が設定され、言語材料の定着を図ったり、コミュニケーション能力の基礎が育成されたりするよう構成されている。</li> <li>(3) 「Review」の書く活動では、語順を意識して英文を書く活動をした後に、自分の考えを書く活動をつなげ、完成した後にペアで話す活動に発展できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 各パートでの「Action!」、「Talking Time」などのコーナーや、ペアやグループでの活動形態で、言語の使用場面や働きを意識して英語表現を習得・運用することができるよう編集されている。</li> <li>(5) 各学年の最後に「Book Project」が設定され、「Chapter Project」と同様の形式で英語学習の総まとめとして表現活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各 Chapter の扉に、学習するトピック・言語材料・目標が明記されており、学習の見通しや評価に活用できるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に Word Tree のコーナーがあり、使用頻度の高い単語については関連づけて定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>・小学校で慣れ親しんだ一般動詞を使った表現や1人称・2人称に絞った表現を導入に用いた教科書の構成になっている。また、アルファベットの導入では“音の足し算”を扱ったりするなど、「教科としての英語」への円滑な小中接続になるよう配慮されている。</li> </ul>

採択基準	発行者名 三省堂 (NEW CROWN ENGLISH SERIES)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や文化に対する理解が深まるよう、いろいろな国や日本の文化について、生徒の興味・関心を引く題材が取り上げられている。</li> <li>・積極的にコミュニケーションが図れるよう自ら学ぶ力、他とかかわる力を育てられるよう工夫されている。</li> <li>・英語でのコミュニケーション能力を総合的・統合的に育成できるように、4技能のバランスを重視した言語活動が取り入れられている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 既習の Section での言語材料を、それ以降の Section やコーナーに盛り込むなど、生徒の発達段階を考慮して題材が選定されるとともに、繰り返し学習によって言語材料の定着が図られるよう編集されている。</li> <li>(2) 言語材料について理解や練習を行う活動 (Review、Action、Activity など) とコミュニケーションを図る活動 (Talking Time、Chapter Project、Book Project など) がバランスよく配置されている。</li> <li>(3) 1年では日常生活の描写といった身近な場面から題材が選定され、学年が上がるにつれ、伝統文化、風俗習慣、環境、人権などへ展開し、生徒の学習意欲を喚起するよう編集されている。</li> <li>(4) 入門期では「聞く」「話す」活動に重点が置かれ、段階的に「読む」「書く」活動が増えるよう構成され、4技能の総合的な育成ができるよう編集されている。</li> <li>(5) 挿絵を大きく扱ったり、写真を効果的に用いたりするなど、内容や場面に応じて、生徒の興味や関心を高めるような工夫がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 目標文や重要表現、語彙などを使って自己表現する「Chapter Project」では「Lesson」、「Action!」など4つのコーナーで習得した知識・技能を活用して、それぞれのテーマについて表現できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させるための活動として「Activities」「Review」が設定され、言語材料の定着を図ったり、コミュニケーション能力の基礎が育成されたりするよう構成されている。</li> <li>(3) 「Review」の書く活動では、語順を意識して英文を書く活動をした後に、自分の考えを書く活動をつなげ、完成した後にペアで話す活動に発展できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 各パートでの「Action!」、「Talking Time」などのコーナーや、ペアやグループでの活動形態で、言語の使用場面や働きを意識して英語表現を習得・運用することができるよう編集されている。</li> <li>(5) 各学年の最後に「Book Project」が設定され、「Chapter Project」と同様の形式で英語学習の総まとめとして表現活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各 Chapter の扉に、学習するトピック・言語材料・目標が明記されており、学習の見通しや評価に活用できるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に Word Tree のコーナーがあり、使用頻度の高い単語については関連づけて定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>・小学校で慣れ親しんだ一般動詞を使った表現や1人称・2人称に絞った表現を導入に用いた教科書の構成になっている。また、アルファベットの導入では“音の足し算”を扱ったりするなど、「教科としての英語」への円滑な小中接続になるよう配慮されている。</li> </ul>

発行者名 採択基準	教育出版 (ONE WORLD English Course)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や文化に関する気づきが深まるよう、海外の文学作品や音楽、日常の生活からも題材が採用されている。</li> <li>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、ペアやグループで学び合いながら、自己表現し、聞き合う活動が取り入れられている。</li> <li>・4技能のバランスが取れた英語力を育成するために、情報を処理し、自分の視点でまとめ伝える活動が設定されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Lesson の前半は「Hop」として、基本文を中心として学習し、後半の「Step」では基本文を使った長文を理解する構造となっており、段階的に学習が進むようになっている。</li> <li>(2) 中学校3年間を通して同じ人物が一貫して登場しており、巻末にある CAN-DO 自己チェックシートと併せ、彼らの成長とともに自分も英語を習得できるという一体感が味わえるよう工夫されている。</li> <li>(3) 有名な固有名詞や日常生活でよく使われる言い回しを多用し、話題になっていることがらを扱うことによって、同じ興味を有する生徒の興味や関心を喚起するよう工夫されており、英語を通して身のまわりのことから世界の諸事情に関してまで気づきを深められるよう構成されている。</li> <li>(4) 1年に2～3回設定されているコーナー「Project」においては、積み上げてきた知識や技能を確認しながら、文だけではなく、グラフや図を使って説明する活動が組み込まれていることで、より実践的な形式で4技能を総合的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>(5) 全体的にデザインや色調が統一されており、イラストや写真が多用されていることや、重要項目が色分けされたり字体を変えたりすることで理解を促すよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「Tips」では、その時間の中で生徒が力をつけるためのコツを明示し、生徒が目標に沿って学習できるよう工夫されている。</li> <li>(2) 各レッスンのパートの終わりに「Q」を設け、学習の過程で自分なりに読み取ったことをまとめ、基礎的な知識や技能を使って自分の考えを表現できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 別冊「Essentials」を使って、単語や文法事項を個人やペアで確認し、定着を図れるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「Time for words」では、単元の中で言語に関する気づきを促し、ペアやグループ活動の中でさらに生徒自身がよりよい表現へと改善するよう工夫されている。</li> <li>(5) 各 Lesson の終末「Task」では、基礎的な知識や技能の確認とともに、思考や表現を要する活動が用意されており、バランスよく力を伸ばせるよう単元が構成されている。</li> <li>(6) 各パートの冒頭に到達目標が明示されていることで、学習の見通しと本時でつける力が明確となり、生徒自身が学習の達成状況を自分で把握できるよう配慮されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や文化に対する理解が深まるよう、様々な時代や地域の話題が取り上げられており、自国を愛し他国を尊重する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度が育成されるよう編集されている。</li> <li>・小学校外国語活動と中学校英語科の橋渡しとして「Springboard」を巻頭に配置し、円滑な移行と小中連携について配慮されている。</li> </ul>



発行者名 採択基準	光村図書(COLUMBUS21 English Course)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材内容に多様性があり、言語や文化に対する理解を深められるように構成されている。</li> <li>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、各 Unit でのペアワークや「Skit Time」でのスキットが取り入れられている。</li> <li>・言語材料の習得、活用のための練習と実際の場面を想定し活用する場面とを設定し、4技能をバランスよく習得できるよう配慮されている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の興味や発達段階を考慮した題材が選定されている。「表現」の欄で表現の機能を明確にし、自然な英語に多く触れられるよう編集がされている。</li> <li>(2) 各 Unit の「Try It!」で「Listen」「Drill」「Speak」「Write」の言語活動を通して基本知識を習得しながら活用の練習をし、単元末の「You Can do It!」で実際の使用場面を想定した言語活動を通して、言語材料が定着するよう構成されている。</li> <li>(3) 題材は登場人物の中学生が展開するストーリーを中心に、国際理解、環境、福祉など多様であり、「Your Coach」では英語の学習方法が示されていて、主体的な学習への取り組みにつながる工夫がされている。</li> <li>(4) 各学期を目安とした4技能を総合的に活用する「Go for It!」では、まとまった分量の自己表現ができるように構成されている。</li> <li>(5) 場面や内容をつかむ助けとなる絵や写真などがカラーユニバーサルデザインの観点で配色されており、文字を邪魔しない配置である。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力等の育成」のバランス、関連性・連続性、個に応じた指導、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各 Unit の扉の図版やリスニングによる導入で本文の内容を大まかにつかみ、「Try It!」で言語材料に習熟し、「You Can Do It!」で学習のまとめをする構成となっている。</li> <li>(2) 「Language Focus」で文型・文法事項が Unit を横断的にまとめられており、振り返りができるよう編集されている。</li> <li>(3) 他教科の内容の一部を英語で学習する「CLIL」を取り入れたり、「Word Square」で語彙などが補充され、その関連ページへのリンクも示されたりしており、習熟度に応じて表現の幅を広げることができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「Skit Time」で電話や買い物など身近で具体的な場面が配置され、言語使用場面や働きと結び付けて指導でき、コミュニケーションを図る活動が取り入れられている。</li> <li>(5) 「アルファベット」では多様な単語が想起できるイラストであったり、絵で場面が展開したり心情面を読みとらせたりするページを用いたりする工夫がある。各学年共通して様々な字体に触れることができるよう配慮されている。</li> <li>(6) 各 Unit の扉に到達目標が明記されていて学習の見通しが持ちやすく、単元末の「You Can Do It!」で目標に対する自己評価ができるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や文脈を大切にしながら自然な英語に触れることができるよう配慮されている。</li> <li>・小学校外国語活動で親しんだ語彙や表現が入門期にあり、小中接続を意識した編集がされている。</li> </ul>